HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

保証書・据付説明書別添付

日立全自動電気洗濯機

型式 NW-5HR

このたびは日立全自動電気洗濯機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとは、保証書・据付説明書・洗濯機設置時のチェックシート（据付確認書）とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→P.8～10 をお読みいただき、正しくお使いください。

もくじ

ご使用の前に

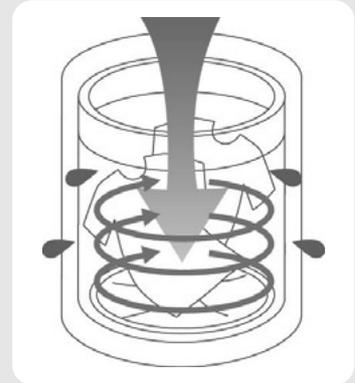
使いかた

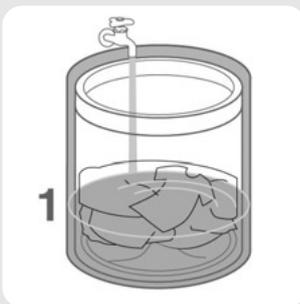
お手入れ・アフターサービス

はじめに(特長)

風乾燥（「洗▶風乾」コース、「風乾燥」コース） ➔ P.26、36

●「洗▶風乾」コースは、干し時間を短縮することを目的とした機能です。
風を吹きかけて30分乾燥運転し、衣類の水分を吹き飛ばします。

●「風乾燥」コースは、化繊の洗濯物(1kg)を、約2時間でほとんど乾かします。
時間を、30分、90分、120分から選べます。

2ステップウォッシュ

●洗剤を溶かして汚れを洗い落とします。

少ない水で洗剤を溶かした濃縮洗濯液で洗い、汚れを落とします。

水を追加して通常の水位で洗い、汚れを落とします。

コンパクト＆ラク出しボディ

●ボディ幅・奥行き約50cmのコンパクトボディだから、狭い洗濯機置き場にもすっきり収まります。さらに投入口の高さは、底の洗濯物にラクに手が届く85cmのラク出しボディ。

各部のなまえ・付属品

■ ➔ のあとの数字は主な説明のあるページです。

洗濯・脱水槽

バランスリング

糸くずフィルター
➔P.43

ソフト仕上剤投入口
➔P.21、44

かくはん翼

ふた

水準器
➔据付説明書

液体洗剤 漂白剤 投入口
➔P.20、21

衣類乾燥機用排水口
➔P.41

ホース掛け(穴)

ふたロック ➔P.40

操作パネル
➔P.6、7

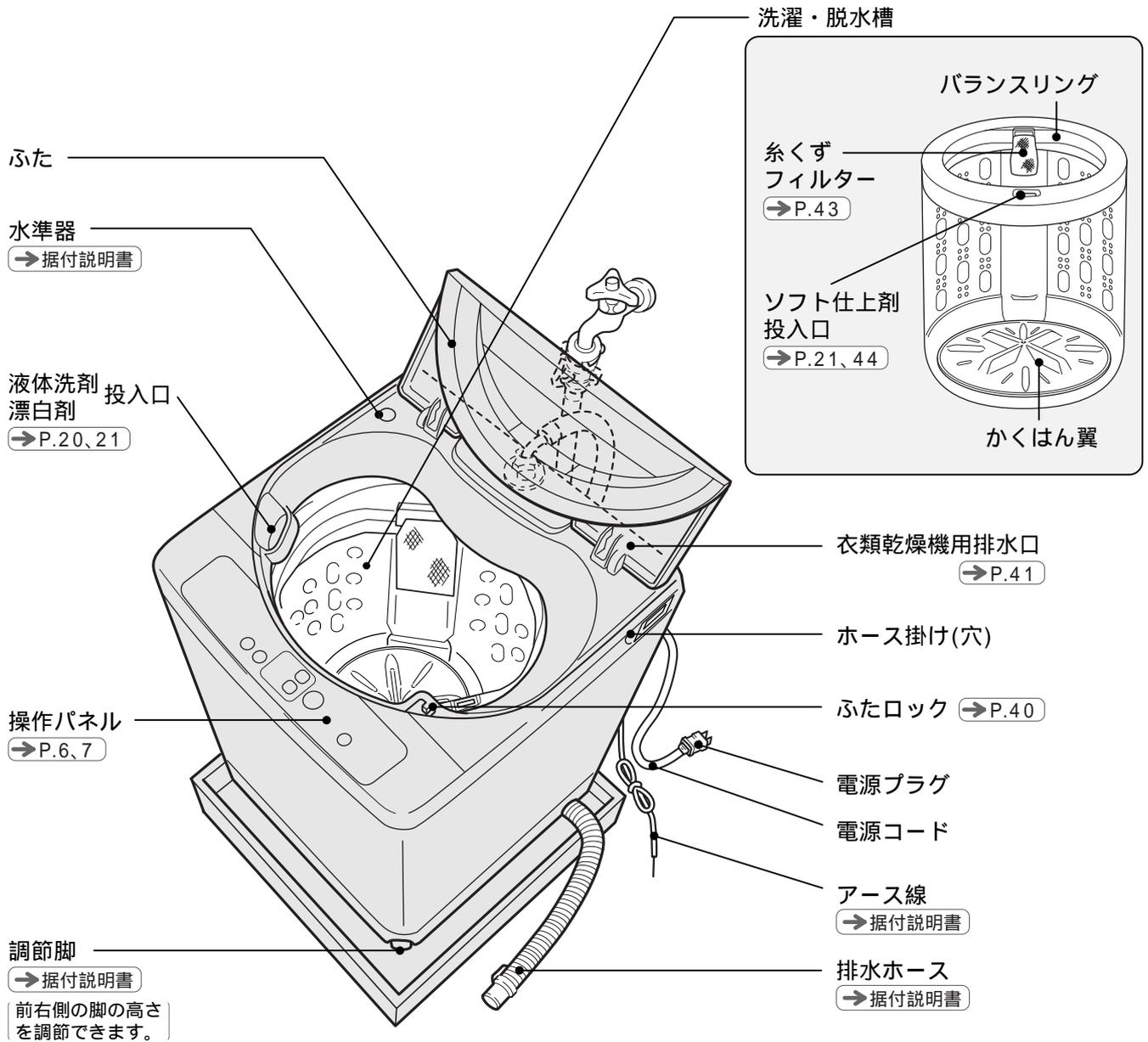
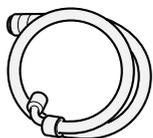
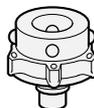
電源プラグ

電源コード

アース線
➔据付説明書

調節脚
➔据付説明書

前右側の脚の高さを調節できます。

排水ホース
➔据付説明書

付　属　品 （「据付説明書」を参照ください）		
給水ホース	ワンタッチつぎて	脚キャップ（高さ調整用）
（1本）	（1個）	（2個）

操作パネルのはたらき

洗濯コースを選ぶ

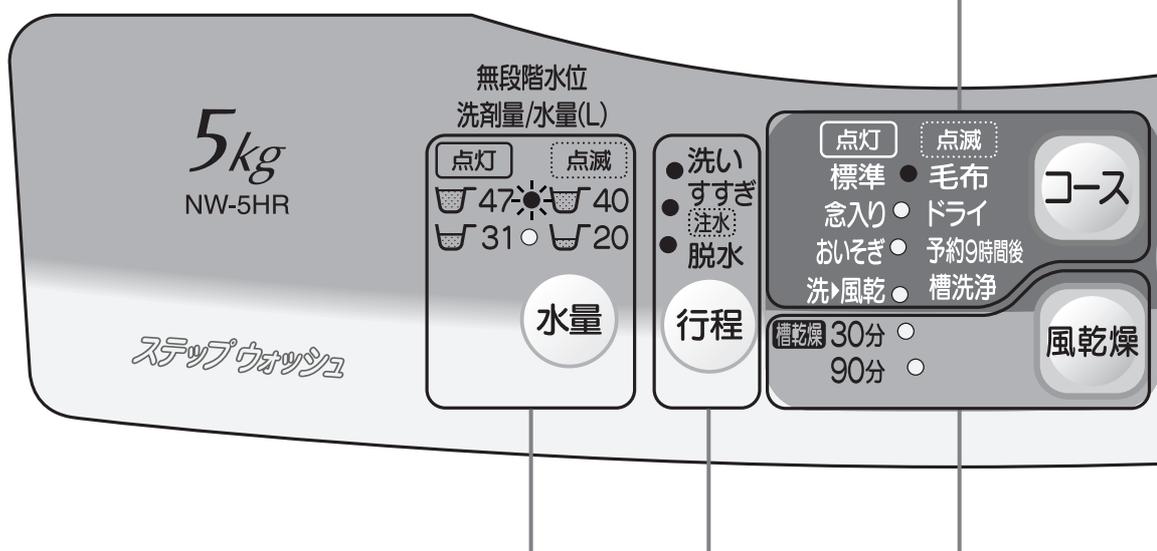
「コース」ボタンを押すと、コースのランプが順に点灯・点滅します。→P.27

●電源を入れると、「標準」ランプが点灯します。

ふたロック表示

安全のため、洗濯時や風乾燥時はふたがロックされ、ランプが点滅します。→P.40
次の場合はランプが点滅していても、ふたはロックされていません。

●電源プラグを差し込んで最初に電源を入れたとき、各表示のランプが点灯するまでの間。
●脱水の回転が停止して、終了ブザーが鳴り、自動的に電源が切れるまでの間。

洗剤量・水量表示

洗剤量はコンパクト(濃縮)粉末洗剤「アタック」を基準にしています。
→P.18、19
お好みに合わせて水量を設定できます。→P.39

運転内容を変える →P.34、35

「洗い」「すすぎ」「脱水」の組み合わせを切り替えます。

●「スタート」後は変更できません。
●注水すすぎを設定した場合は、すすぎのランプが点滅します。

■電源を入れたあと3秒押し操作で設定が変わるボタン

	ブザー音を消すことができます。 →P.41		いたずら防止モードの設定ができます。 →P.40

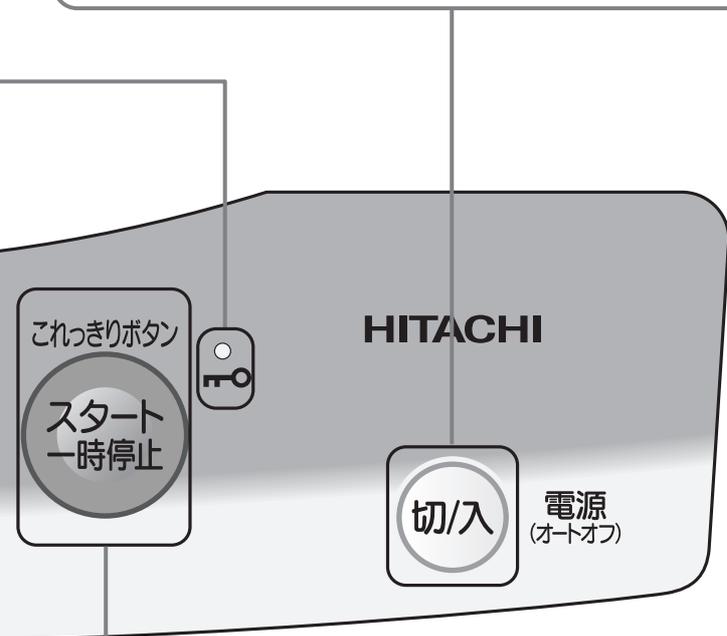
電　源

電源の入・切を行います。

●運転が終了するとブザーが鳴り、約10秒間「ふたロック」のランプが点滅後、➔P.40、46 自動的に電源は切れます。

●電源を「入」または「切」にすると、「ふたロック」のランプが点滅します。このとき、電源ボタンは受け付けません。(洗い、すすぎの給水またはかくはん中に電源を「切」にしたときや、再度「入」にしたときは点滅しません。)

●電源を切ったあと、約10秒間はボタン操作を受け付けません。再度電源を入れたいときは、「ふたロック」のランプ消灯後、電源ボタンを押してください。

※操作パネルは「標準」コース(水量40L)の例です。

操作パネルのランプ表示について

設定や行程などをランプの点灯と点滅でお知らせします。

点灯表示 … ●
点滅表示 … ☀

風乾燥時間を選ぶ

「風乾燥」ボタンを押すと、乾燥時間のランプが順に点灯します。 ➔P.36

スタート／一時停止

運転のスタートや、一時停止を行います。

●脱水中に「スタート/一時停止」ボタンを押すと、洗濯・脱水槽の回転が止まるまで、すべてのボタンを受け付けず、ふたも開きません。

安全上のご注意

お使いになる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを、次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくお使いください。

■ここに示した注記事項は

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の例

	「警告や注意を促す」内容のものです。
	してはいけない「禁止」内容のものです。
	実行していただく「指示」内容のものです。

⚠ 警告

●火災・感電・けがの原因になります。

電源プラグや電源コードは

●定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
他の器具と併用すると分岐コンセントが異常発熱して、発火することがあります。

●電源プラグを抜くときは、きちんと電源プラグを持って抜く
感電やショートして発火することがあります。

●電源プラグは、刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合はよくふく
火災の原因になります。

●お手入れの際や長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。

●ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない
感電の原因になります。

●傷んだ電源コードや電源プラグ、緩んだコンセントは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

●電源コードを傷つけない
〔傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・はさみ込むなどしない〕
電源コードが破損し、発煙・発火の原因になります。

●テーブルタップによるタコ足配線はしない
発煙・発火の原因になります。

●延長コードは使用しない
過熱し、発煙・発火の恐れがあります。

アース線は

●アース線は取り付ける
アース線を取り付けないと漏電のとき感電することがあります。
アースの取り付けは、電気工事店または販売店にご相談ください。

⚠警告

据え付けのときは

●浴室など湿気の多い場所や風雨にさらされる場所には据え付けない
感電や漏電による火災の恐れがあります。

●キャスターの付いている台や、不安定な場所に据え付けない
本体の異常振動により、けがや本体故障の原因になります。

洗濯物や洗剤は

●食用油、動物系油、機械油、ドライクリーニング油、ベンジンやシンナー、ガソリン、美容オイル、軟膏剤などの付着した衣類、くつ(スニーカー)、帽子などは洗濯後でも衣類乾燥機で乾燥しない。また、スポンジの入ったものも乾燥しない
油などの酸化熱による自然発火や引火の恐れがあります。

●洗剤を入れすぎない
洗剤は表示に従って適量を入れてください。
泡が大量に発生して本体が故障し、水漏れや感電をする恐れがあります。

運転中、運転後は

●洗濯・脱水槽が完全に止まるまでは、中の洗濯物などに手などを触れない
緩い回転でも洗濯物が手に巻きついて大けがをする恐れがあります。
特にお子様にはご注意ください。

本体の近くには

●引火物は洗濯・脱水槽に入れない、近づけない〔灯油・ガソリン・ベンジン・シンナー・アルコールやそれらの付着した洗濯物〕
爆発や火災の恐れがあります。

●ローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気を近づけない
火災の恐れがあります。

●操作パネル部付近には、磁石などの磁気を帯びたものを近付けない
ふたが開いた状態でも、洗濯・脱水槽が回転することがあります。

●子供に洗濯・脱水槽の中をのぞかせない。また、本体の近くに台を置かない
洗濯・脱水槽の中に落ちてけがをする恐れがあります。

そのほか

●同梱品が梱包されているポリ袋は、小さい子供や乳児の手の届かないところに置く

ポリ袋を頭にかぶると、窒息する恐れがあります。

●動かなくなったり、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常がある場合は、事故防止のためすぐに電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼する
感電や漏電・ショートによる火災の恐れがあります。

●分解したり、修理・改造しない
火災・感電・けがの原因になります。
(修理は販売店などにご相談ください)

●お手入れするときなどは、本体各部に直接水をかけない
ショート・感電の原因になります。

●揮発性溶剤(ガソリン、ベンジン、シンナー、灯油など)や、カセイソーダで洗ったりしない
爆発・火災の原因になります。

安全上のご注意(続き)

⚠注意

●水漏れ・けがの原因になります。

洗濯物は

●防水性のマット・シートや衣類、足ふきマット、玄関マットなど固くて厚いもの、水を通しにくい繊維製品は、洗い・すすぎ・脱水・風乾燥をしない

洗濯物が傷んだり、脱水中に異常運転して、けがをする恐れがあります。

―― 例えば ――

釣具ウェア、スキーウェア、雨ガッパ、寝袋、サウナスーツ、ウェットスーツ、ウィンドブレーカー、おむつカバー、自転車・バイク・自動車カバー、防水性マット・シート、足ふきマットなど固くて厚いものなど

運転前後、運転中は

●洗濯前は水栓を開いて、水漏れがないか確認する

ねじが緩んだりしていると、水漏れして思わぬ被害を招くことがあります。

●使用しないときは、水栓を閉じておく

万一の水漏れを防ぐためです。

●据え付け直後や移設直後など、水栓接続を変えたあとには、まず水栓を開いて、水漏れがないか確認する

万一の水漏れをすぐに確認するためです。

●ロックされた状態のふたを無理に開けない

ふたロックが破損し、けがをしたり洗濯・風乾燥ができなくなります。

●運転中は本体の下に手足などを入れない

けがの原因になります。

そのほか

●給湯機からの温水は使用しない

本体の故障や水漏れの原因になります。

●本体の上にのぼったり、重いものを載せたりしない

本体の故障や水漏れの原因になります。

●50℃以上のお湯は使用しない

本体の故障や水漏れの原因になります。

●ふたなどのプラスチック部や本体に、ソフト仕上剤、液体洗剤、漂白剤がついた場合は、湿った柔らかい布ですぐに拭き取る

本体のさびの発生、破損、プラスチック部破損の原因となり、けがをする恐れがあります。

●防水パンや洗濯機トレーを設置する

●排水口が掃除できるように設置する

排水口が詰まってしまうと、排水不良による排水口からの水漏れの原因になります。

使用上のご注意

■運転中は電源プラグを抜かない

●故障の原因になりますので、一時停止あるいは電源を「切」にしてから、プラグを抜いてください。

■テレビやラジオを近づけない

●テレビに線が入ったり、ラジオ・テレビの雑音の原因になります。

■断水後や一度給水ホースを外して再取り付けした場合は、水栓を閉め、「槽洗浄」コースを選んでスタートボタンを押してからゆっくり水栓を開く
(長期間使用しなかった場合も同様)

●給水ホース、水道配管に空気がたまり、圧縮された空気圧により、本体が破損し、水漏れやけがをする恐れがあります。

■洗濯物は入れ過ぎない

●洗濯物が洗濯・脱水槽からはみ出して破れたり、プラスチック部品の破損の原因になります。
●洗濯時間が長くなったり、洗濯ムラや乾燥ムラになることがあります。

■風乾燥コース運転中の換気は十分に

●洗濯物を効率よく乾燥させるために換気を十分にしてください。
●冬期など室温が低いとき、換気が不十分なときは、窓や壁などが結露する場合があります。

■結露に注意

●夏季など湿度が高いとき、冷水などの使用で本体の外側が結露し、床面をぬらすことがあります。
●防水パン(TP-780)、洗濯機用トレー（YT-1）のご使用をおすすめします。➔P.55

■入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従う

●色移りや変色などを防ぐためです。
●発泡タイプ、ゼリータイプ、とろみタイプの入浴剤は風呂水を吸水できない場合がありますので、使用しないでください。

■排水口(排水トラップ)は定期的に清掃する(1回/月)

●糸くずや異物詰まりにより、水漏れなどの原因になることがあります。

お洗濯の手順

26ページ 洗濯をする — コース

26ページ 洗濯～風乾燥をする — コース ※「洗▸風乾」を選ぶ

36ページ 風乾燥をする — 風乾燥

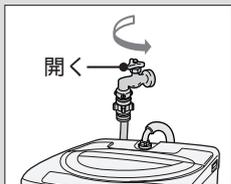
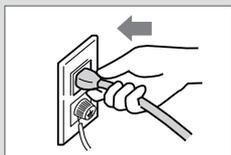
準備をする

本体

1 排水ホースをセット

排水口

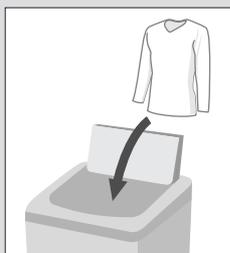
2 水栓をゆっくり開く

開く

3 電源プラグをコンセントに差す

4 糸くずフィルターが取り付いていることを確認する

洗濯物

➔P.14～17

1 洗濯物を仕分ける 前処理する

2 洗濯・脱水槽に入れる

洗濯物にあったコースを設定する

➔P.26～37

1 電源を入れる

2 コース・機能を設定する

3 運転をスタートする

洗濯物量をセンサーが計測する

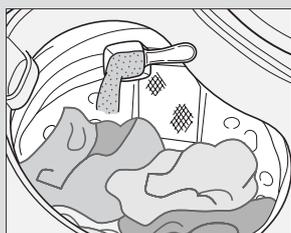
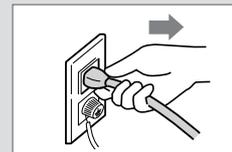
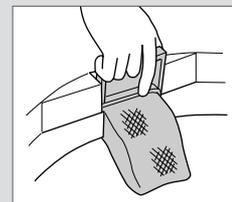
水が入る前に約8秒かくはんして計測します

水量・洗剤量を表示

無段階水位
洗剤量/水量(L)
点灯 点滅
47 40
31 20

「標準」コース(水量40L)の例

※水量と洗剤量をランプの点灯と点滅でお知らせします。➔P.18

洗剤・ソフト仕上剤
・漂白剤を入れる
洗剤投入の流れについては
➔P.18～21
1 洗剤を入れる
2 漂白剤を入れる場合
液体洗剤・
漂白剤
投入口
3 ソフト仕上剤を
入れる場合
ソフト仕上剤投入口
4 ふたを閉める
洗い
すすぎ
脱水
風乾燥
設定内容を自動運転する
●洗剤を溶かす
●洗う
洗い
すすぎ
注水
脱水
洗▸風乾
槽乾燥 30分
90分
●すすぐ
●脱水する
●風乾燥する
片づけや
お手入れをする
お手入れについては
➔P.43～45
1 水栓を閉める
閉める
2 電源プラグを抜く
3 糸くずフィルターの
お手入れをする
糸くずフィルター ➔P.43

洗濯物の準備をする

●取扱絵表示を確認してください。

仕分けと確認

次の物は洗濯も乾燥もできません

■縮み、型崩れ、変色、損傷、風合い劣化などを防ぐために

●皮革・毛皮・羽製品、およびその装飾品付き製品

●レーヨン、キュプラおよびその混紡品
・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。

●絹製品
・縮んだり、型くずれしたり、変色する場合があります。

●和服、和装小物製品

●ウールなどで強くよじった糸(強撚糸)を使用した製品

●色落ちしやすいもの
※分けて洗う、または水量を多くして洗ってください。
➔ P.16、17

●コーティング加工、樹脂加工、エンボス加工をした製品

●ベルベットなどのパイル地製品

●ネクタイ、スーツ、コート
・縮んだり、型くずれする場合があります。

●洗濯絵表示（ドライ セキユ系）のあるものや、取扱絵表示がないもの、素材表示がないもの

●毛100%や毛足10mm以上の毛布、カーペットカバー

■脱水異常振動によるけがや、故障などを防ぐために

●防水性製品 ➔ P.10
・洗濯物が片寄りやすく、本体の故障、洗濯物の破れの原因になります。

●裏面にゴムが付いているマット類、厚手または毛足の長いマット類(玄関マット、カーペット、ラグマット、敷物など)
・洗濯物が片寄りやすく、本体の故障の原因になる恐れがあります。

●ペットの毛が多量に付着したもの
※排水口の詰まりの原因になります。

●市販の洗濯補助具(洗濯ボール、ゴミ取りフィルターなど)

●座布団や枕、布団、クッションなど

●靴

次の物は乾燥できません

●のり付けしたもの

●ゴム類やゴムなどをコーティングした製品
※商品の取り扱い表示に従ってください。

●ウレタン(スポンジ類)の入ったもの(ぬいぐるみなど)

●縮みやすいもの

●ふとん類や枕など、わたを使用した製品

●「タンブラー乾燥はお避けください」などの表示があるもの

●濃い色のプリントもの

●タイツ、レースや刺しゅうなど飾りや付属品のある製品：新合繊(超極細繊維)

●ウールなどの獣毛およびその混紡製品

●下のいずれかの表示があるもの

※本文中の乾燥とは、「洗▶風乾」コースと、「風乾燥」運転のことです。

洗濯物の重さの目安

ブリーフ
(綿100%　約50g)

長袖
アンダーシャツ
(綿100%　約150g)

バスタオル
(綿100%　約300g)

靴下
(綿100%　約50g)

ブラウス
(混紡　約200g)

パジャマ
(上・下)
(綿100%　約500g)

タオル
(綿100%　約70g)

ワイシャツ
(混紡　約200g)

シーツ
(綿100%　約500g)

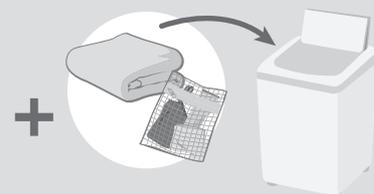
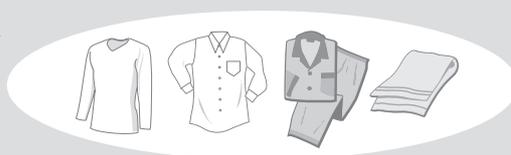
スムーズに脱水するには

洗濯物の片寄りが起こると、自動で片寄りを修正する動作を行うため、運転時間が長くなり、水を多めに使用します。
また、脱水中に振動が大きくなり、運転が途中で止まる場合があります。
下記のことにご注意ください。

● タオルケットやジーンズなど厚手の洗濯物、洗濯ネットに入れた洗濯物は、**一つだけでは洗濯しないでください。**

● 厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物を洗うときは、**2、3枚一緒に洗うか、ほかの洗濯物と一緒に洗ってください。**

洗濯・脱水槽への入れかた

厚手の洗濯物や、洗濯ネットに入れた洗濯物は、先に入れてから、ほかの洗濯物を入れてください。

洗濯物は、重いものが片寄らないように均等に洗濯・脱水槽に入れる

洗濯物は詰め込み過ぎないでください。

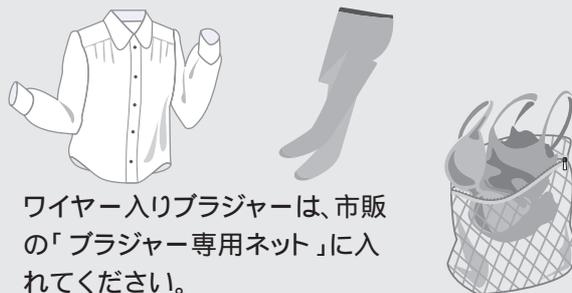
洗濯の仕上がりを良くするポイント

洗濯の準備をするときは

糸くずが気になるものは ネットに入れる

●コーデュロイ(起毛素材の衣類)や濃い色の衣類、ストッキングなど、糸くずの付着が気になる衣類は、市販の「糸くず防止用洗濯ネット」に入れて洗ってください。

デリケートな衣類は ネットに入れる

●レースのついた衣類やブラウス、ストッキング、タイツなどは、市販の「洗濯ネット」に入れてください。

●ワイヤー入りブラジャーは、市販の「ブラジャー専用ネット」に入れてください。

色落ちしやすいものは 分けて洗う

●著しく色落ちする衣類は分けて、同類の衣類を2～3枚まとめて洗ってください。

大きなゴミ、どろや砂、髪の毛、ペットの毛は取り除く

●排水経路にゴミや異物が詰まり、故障の原因になります。

硬貨やヘアピンなどは取り除く （ポケットの中も忘れずに）

●衣類を傷めたり、故障の原因になります。

ひもは結んで、ファスナーは閉める

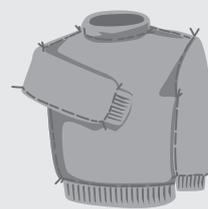
●ファスナーなどによる洗濯物の傷みや本体の故障を防ぐためです。

しみは早めに処理しておく

●しみは時間がたつと落ちにくくなりますので、洗濯前に部分洗い洗剤などで処理しておくと、より効果的です。

毛玉や糸くずが気になるものは裏返す・分けて洗う

●セーターなど糸くずが気になるものは裏返してください。

●気になるものは、タオル、バスタオルとは分けて洗ってください。

洗濯するときは

糸くずが気になる衣類は

食べこぼしや糸くずなどの固形の汚れが衣類に残る場合があります。

●糸くずが気になる場合には、水量を高めに設定すると糸くずが取りやすくなります。

注水すすぎにする

水量を多くする

色落ちしやすい衣類は

かくはん翼でこすられると、色落ちすることがあります。

●水量を多くして運転しましょう。

水量を多くする

色移り・黒ずみを防ぐには

●色落ちしやすいものは分けて洗ってください。

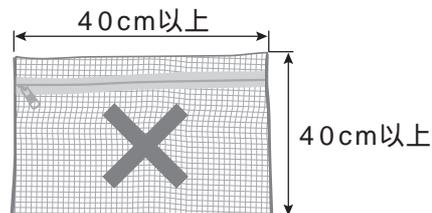
●洗剤やソフト仕上(柔軟)剤は適量を入れてください。

※洗剤が少なかったり、ソフト仕上(柔軟)剤を入れ過ぎたりすると、黒ずみの原因になります。

洗濯ネットを使うときのお願い

●ネットには衣類を詰め込み過ぎないでください。

●ネットのファスナーはきちんと閉めてください。

●一辺が40cm以上の大きなネットは使用しないでください。衣類が片寄り、運転できないことがあります。

洗濯量と洗剤量・ソフト仕上剤量・漂白剤量について

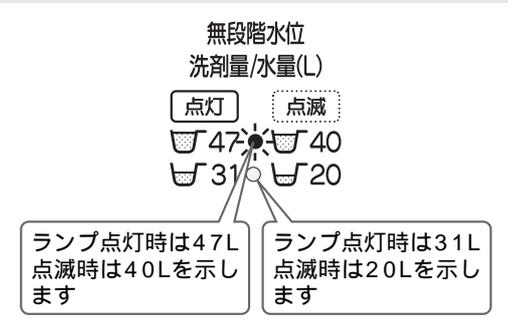
洗濯量の検知と水量表示

1 **洗濯物を入れてお好みのコースを設定し、**

ボタンを押すと…

▼ **かくはん翼が回転し、洗濯物の量をセンサーが計測する**

水が入る前に約8秒
かくはんして計測

▼ **洗濯量に応じた水量と洗剤量を表示する**

「標準」コース(水量40L)の例

2 **右表を参考に洗剤、ソフト仕上剤、漂白剤を投入する**

ご注意

- 「美白系(UVカット)」「洗剤UVカット」は泡立ちが良すぎるため、ご使用できません。
- 右表内の※の洗剤については、2割減らしてご使用ください。
- 「仕上剤レノア」は薄めずに使用してください。固まったり、衣類のしみの原因になる場合があります。

洗濯量(kg)(目安)	水量(手動設定)	洗剤量目安表示
5.0	47L	
3.5	40L	
2.5	38L※	
1.5	31L	
0.5	20L	

※「おいそぎ」コースの場合の水量です。

洗濯量について

- 表の洗濯量はJIS(日本工業規格)で規定された布地を洗濯した場合のものです。
  洗濯物の種類、大きさ、厚さなどによって洗濯量が変わります。
  通常の衣類では洗濯量は表示の7～8割が適当です。
- 「風乾燥」コース運転での定格容量は、化繊1kgです。

洗濯量と洗剤量・ソフト仕上剤量・漂白剤量

下表以外の洗剤は使用しないでください。
操作パネルの水量表示に合わせて洗剤をご使用ください。

合成洗剤						石けん(天然油脂)		ソフト仕上剤			漂白剤
コンパクトタイプ					中性洗剤						
粉末		液体				粉末	液体	濃縮		普通	
水30Lあたり 20g	水30Lあたり 25g	水30Lあたり 10mL	水30Lあたり 20mL	水30Lあたり 25mL	水30Lあたり 40mL	水30Lあたり 36g	水30Lあたり 40mL	水30Lあたり 7mL	水30Lあたり 10mL	水30Lあたり 20mL	水30Lあたり 40mL
アタックトップ 部屋干しトップ 消臭ブルーダイヤ アリエール※	アタックALLin ニュービーズ ボールド※	アタックNeo	アリエールイオンパワージェル リキッドトップ	液体ふんわりニュービーズ アタックバイオジェル 香りつづくトップ	エマールアクロン	そよ風	洗濯用液体複合石けん	ハミング(濃縮タイプ) ふんわりソフラン レノア	ハミングフレア しわスッキリソフラン 香りとデオドランドのソフラン	ハミングソフランS	手間なしブライト ワイドハイター
31g	39g	16ml	31ml	39ml	63ml	56g	63ml	11ml	16ml	31ml	63ml
27g	33g	13ml	27ml	33ml	53ml	48g	53ml	9ml	13ml	27ml	53ml
25g	32g	13ml	25ml	32ml	51ml	46g	51ml	9ml	13ml	25ml	51ml
21g	26g	10ml	21ml	26ml	41ml	37g	41ml	7ml	10ml	21ml	41ml
13g	17g	7ml	13ml	17ml	27ml	24g	27ml	5ml	7ml	13ml	27ml

洗剤量について

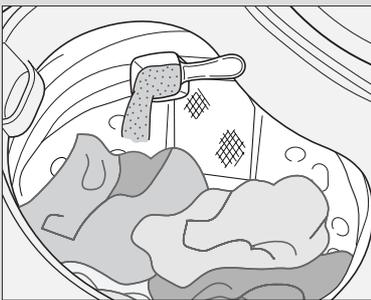
家庭用品品質表示法の改正に伴い、メーカーにより洗剤の標準使用量(水30Lに対し○○g)が表示されていないものもあります。洗剤容器にある「使用量の目安」を参考にしてください。
●軽い汚れの場合は、上の表の半分程度(5～6割)が適当です。
●水に溶けにくい洗剤は、溶かしてから入れてください。➔P.20
●タブレット、シート、キューブタイプの洗剤は入れ過ぎると溶け残る場合があります。

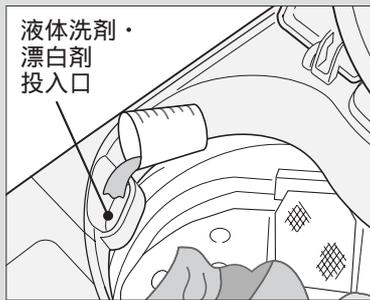
洗剤・漂白剤・ソフト仕上剤を使う

洗剤～ソフト仕上剤投入の流れ

スタート一時停止 を押す → 洗剤量表示 → 洗剤投入 → 給水開始

粉末合成洗剤

洗濯物の外周に均一に回し入れる

液体洗剤

液体洗剤・漂白剤投入口に、水でうすめた液体洗剤を入れる

石けん(天然油脂)

粉末石けん、複合石けんなどは、よく溶かしてから直接洗濯・脱水槽内に入れる ➔P.22

お願い

●洗剤は規定量を守ってご使用ください。
入れ過ぎるとすすぎが不十分になったり、洗剤の溶け残りや泡による弊害が起こる場合があります。

ご注意

●洗剤は適量をご使用ください。多すぎると、すすぎ効果・ソフト仕上剤の効果が落ちます。
●粉末石けん(天然油脂)や複合石けん(天然油脂)などは、よく溶かしてから直接洗濯・脱水槽に入れてください。➔P.22
●液体洗剤は、洗剤残りを少なくするため、水でうすめて投入口から静かに流し込んでください。
●電源を「入」にする前に、液体洗剤を入れないでください。
電源が「切」の状態では排水弁が開いているため、液体洗剤が流れ出てしまいます。
●タブレット、シート、キューブタイプなどの洗剤をご使用になるときは、よく溶かしてから、直接洗濯・脱水槽内に入れてください。
●洗剤の種類により、スプーン1杯の洗剤量が異なりますので、お使いの洗剤の容器に記載してある「使用量の目安」を参考にし、水量表示(L)に対して入れ過ぎにご注意ください。入れ過ぎると洗剤が発泡する恐れがあります。（故障したり、水漏れや感電をする恐れがあります）

漂白剤投入 → ソフト仕上剤投入

漂白剤

洗剤を入れたあと、液体洗剤・漂白剤投入口に、水でうすめた液体漂白剤を入れる

■粉末漂白剤

直接洗濯・脱水槽に入れます。

ご注意

- ●使用量および使いかたについては、漂白剤の表示に従ってください。
- ●液体漂白剤は直接洗濯物にかけないでください。変色、布破れの原因になります。
- ●塩素系の漂白剤を洗濯・脱水槽に入れたまま、長時間放置しないでください。

ソフト仕上剤

ソフト仕上剤投入口に、ソフト仕上剤を入れる
(濃縮タイプは2倍に薄めてください)

ソフト仕上剤が入れにくい場合は、洗濯・脱水槽を投入口の反対側に寄せてください。

ご注意

- ●洗剤やソフト仕上剤で香りの強いものや粘性の高いもの、天然油脂を使用した洗剤を使用すると、においが気になる場合があります。気になる場合は、量を減らすか洗濯・脱水槽をお手入れしてください。➔P.42
- ●「柔軟剤レノア」は薄めずに使用してください。固まったり、衣類のしみの原因になる場合があります。
- ●ソフト仕上剤の「1回の投入量」は31ml以下にしてください。多く入れても有効に働きません。
- ●ソフト仕上剤を投入したまま、長時間(12時間以上)放置しないでください。投入口の中で固化し、動作不良の原因となります。
- ●洗濯機が傾いていたり、給水中に洗濯・脱水槽を傾けたりすると、投入口に水が入る場合があります。(仕上剤の効果が失われます)
- ●ソフト仕上剤投入口をお手入れ ➔P.44 したときは、外したソフト仕上剤ケースを元に戻してください。

石けん(天然油脂)を使う

バケツなどで溶かすとき

1 バケツなどに、30℃ぐらいのぬるま湯を約5L用意する

2 ぬるま湯に石けん(天然油脂)を少しずつ入れながら、十分に溶かす

●石けん(天然油脂)が固まったり、粉が残ったりしないよう、十分溶かす。

3 洗濯・脱水槽に洗濯物を入れ、お好みのコースを選ぶ

4 スタート一時停止 を押し、運転を開始する

5 溶かした石けん液を洗濯・脱水槽に入れ、運転を続ける

洗濯・脱水槽で直接溶かすとき

1 切/入 を押し、電源を入れ、

コース を押し、「標準」コースを選ぶ

2 「水量」「行程」のボタンを押し、「水量31L」、行程で「洗い」を設定する ➔ P.34

水量	行程
31L	洗い

3 スタート一時停止 を押し、運転を開始する

4 給水後、かくはんが始まったら、スタート一時停止 を押し、一時停止する

5 ふたを開け、石けん(天然油脂)を入れ、ふたを閉め スタート一時停止 を押し、運転を再開する

6 石けん(天然油脂)が溶けたら、電源を切る

7 洗濯物を入れたあと、再度電源を入れ、お好みのコースを選ぶ

8 スタート一時停止 を押し、運転する

※水が入っていますので、洗剤量/水量(L)表示が多めに表示されることがあります。その場合は手動で設定してください。 ➔ P.39

ご注意

●石けん(天然油脂)は合成洗剤に比べ洗濯物に残りやすいので、「注水すすぎ」ですすいでください。
よくすすがないと黄ばみや、においの原因になることがあります。

●使用量が多すぎたり、低温の水に直接入れると、完全に溶けない石けん分がホースや洗濯・脱水槽の内側に付着し、浮き上がって洗濯物を汚すことがあります。

●石けん(天然油脂)を使うとき、合成洗剤を約1割混ぜると、石けんかす（金属石けん）の発生を抑えることができます。

●石けん(天然油脂)は石けんかすが発生しやすいため、1ヶ月に一度を目安に洗濯槽クリーナー ➔ P.55 を使い、「槽洗浄」 ➔ P.42 コースでのお手入れをしてください。

●合成洗剤のみの場合は、「洗濯・脱水槽で直接溶かすとき」に記載の方法で運転しないでください。
泡による弊害が起こる場合があります。

●液体石けん(天然油脂)は、水で溶かしたまま放置しないでください。固まる恐れがあります。

次の場合は石けん(天然油脂)を使用しないでください。

●予約運転のとき

洗濯・脱水槽内で固まる恐れがあります。

●「毛布」「ドライ」コースのとき

つけおき洗いにより、黄ばみや黒ずみの恐れがあります。

洗濯のりを使う

洗濯のりについて

化学合成のり（酢酸ビニール系、PVAc）と表示されているものに限ります。

●上記以外の洗濯のりは、故障の原因となる恐れがありますので、成分表示をご確認ください。
※PVA(ポリビニルアルコール)は使用しないでください。衣類に吸着しにくくなり、十分なのり付けができなくなる場合があります。

洗濯のりの量

洗濯のりに表示されている分量を目安にしてください。

のり付けできる洗濯量

1kg以下（洗濯物の重さの目安 ➔ P.15**）**

準備 **水栓を開ける**

1. 切/入 **を押し、電源を入れる**
2. コース **を押し、「標準」を選ぶ**
3. 水量 **を押し、「31L」を選ぶ**
4. スタート一時停止 **を押す**

   スタート一時停止 **を押したあと、給水が始まったら一時停止し、直接洗濯・脱水槽に洗濯のりを入れ、再度** スタート一時停止 **を押します。**

5. **洗濯のりが溶けたら電源を切り、のり付けしたい衣類を入れる**
6. **「洗い」→「脱水」を運転する** ➔ P.34

   水量は衣類の量に応じて調整してください。

ご注意 ●のり付けした衣類は「風乾燥」コースで乾燥しないでください。シワの原因になります。

のり付けしたあとは

洗濯・脱水槽に残った洗濯のりを洗い流してください。
●念入りに洗い流したい場合は、「槽洗浄」コースをご使用ください。

「標準」コース

1. **電源を入れ、「標準」コースを選ぶ**
2. **水量を「47L」に設定する**
3. **ふたを閉め、スタートボタンを押す**

「槽洗浄」コース(念入りに洗浄したい場合)

1. **電源を入れ、「槽洗浄」コースを選ぶ**

   （市販の塩素系漂白剤や洗濯槽クリーナーは使用しないでください。）

2. **ふたを閉め、スタートボタンを押す**

ご注意 ●洗剤、衣類は入れないでください。

洗濯液を2度使う

1 **1回目は汚れの少ないものを**
洗いのみ で洗う → P.34

水量に合わせて洗剤を入れます。

2 **2回目は汚れの多いものをお好みのコースで洗う**

洗濯物に応じた水量を設定します。

3 **1回目の洗濯物を**
すすぎ→脱水 運転する → P.34

1回目と同じ水量を選びます。

お湯を使う(風呂水など)

1. 切/入 を押し、電源を入れる

2. スタート一時停止 を押す

3. 洗剤量/水量(L)が、点滅または点灯していることを確認する

点滅
無段階水位
洗剤量/水量(L)
点灯 点滅
47 40
31 20

または

点灯
無段階水位
洗剤量/水量(L)
点灯 点滅
47 40
31 20

4. 切/入 を押し、電源を切る

5. ふたを開け、洗濯・脱水槽に洗濯物と洗剤を入れる

●洗剤は、洗濯物の量に応じて入れてください。 → P.15、18、19

6. お湯(風呂水など)を入れる

●洗濯物が完全につかるまで入れてください。
●50℃以下のお湯をご使用ください。
●つけおき洗いする場合は、このまま放置してください。

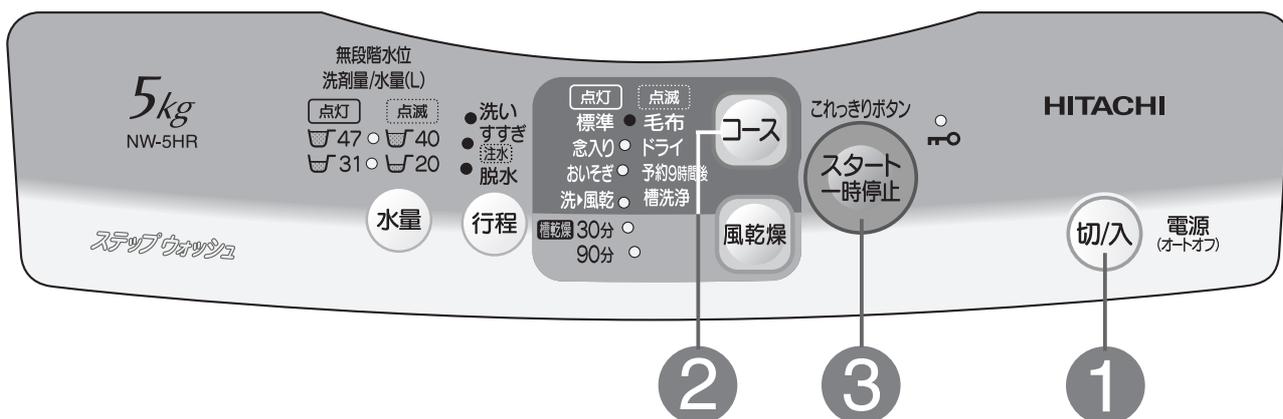
7. 切/入 を押し、電源を入れる

8. コース を押し、お好みのコースを選ぶ

9. ふたを閉め、 スタート一時停止 を押す

●所定の水量に達していない場合は、水道水が給水されます。
●お湯が入っていますので、洗剤量/水量(L)表示が多めに表示されることがあります。
その場合は、手動で水量を設定してください。 → P.39

ご注意
●洗剤は入れ過ぎないでください。
入れ過ぎると発泡する恐れがあります。
●入浴剤の入った風呂水を使うときは、入浴剤の注意書きに従ってください。
色移りや変色を防ぐためです。
●お湯(風呂水など)を洗濯・脱水槽に入れる際は、洗濯機の周囲や、操作パネルにこぼさないようご注意ください。
濡れた場合は、乾いた布でふいてください。

洗濯をする／洗濯〜風乾燥をする

準備 **水栓を開け、洗濯物を入れる**

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

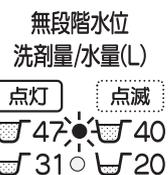
2 コース を押し、
希望のコースのランプを
点灯・点滅させる

「洗▶風乾」コースは、風乾燥30分が点灯します。

洗▸風乾 ●
槽乾燥 30分 ●
90分 ○

3 スタート一時停止 **を押す**

洗濯物の量を測定し、洗剤量/水量(L)を表示します。

無段階水位
洗剤量/水量(L)
点灯 点滅
47 ● 40
31 ○ 20

「標準」コース(水量40L)の例

4 **洗剤量/水量(L)表示に従って、**
洗剤、漂白剤、ソフト仕上剤を
入れて、ふたを閉める ➔ P.18〜21

ブザーが鳴ったあと、「ふたロック」のランプが消灯したら終了です。

ご注意 **●「念入り」コースをご使用する場合は、傷みの気になる衣類は洗わないでください。衣類を傷める恐れがあります。**

■「水量」の設定を変えたいときは ➔ P.39

■「すすぎ」の設定を変えたいときは ➔ P.34、35

※「洗い」「脱水」の設定は変更できません。
※「洗▶風乾」「毛布」「ドライ」「槽洗浄」のコースについても設定を変えることはできません。

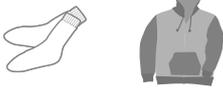
お願い

※標準コースで洗濯したあと、30分の乾燥で干し時間を短縮します。

●タイマー式乾燥のため、乾きに関係なく終了します。
洗濯物の容量、種類、気温・湿度・室内の換気状態、季節や設置環境によって、乾燥不足や乾きムラがあります。特に綿100%のような厚手の衣類に乾きムラが生じることがありますが、異常ではありません。
そのようなときは、追加運転を行うか、天日干しをしてください。

●洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、水を排水してください。 ➔ P.34

コースの使い分け

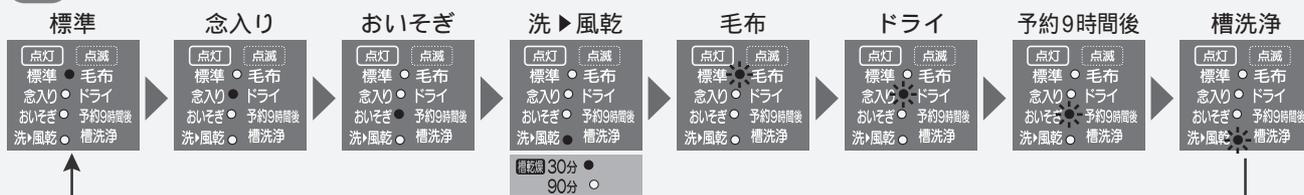
こんなときに	おすすめコース	洗濯容量	おすすめ洗剤と漂白剤
普段の洗濯物に	標　準	5kg	粉末合成洗剤 または 液体洗剤
汚れが多いときや厚手の洗濯物に	念入り	5kg	
軽い汚れを短時間に洗濯	おいそぎ	2.5kg	
普段の洗濯物を洗濯～風乾燥で干し時間を短縮したいときに	洗▶風乾	5kg	
毛布など大物の洗濯に	毛布 ➔P.28	2.4kg	液体洗剤
、 表示の衣類の洗濯に	ドライ ➔P.30	1kg	ドライマーク 衣類専用洗剤 または 液体中性洗剤
出かけている間や、夜間に洗って朝干したいときに	予約9時間後 ➔P.32	5kg	粉末合成洗剤 または 液体洗剤
洗濯・脱水槽のお手入れに	槽洗浄 ➔P.42		洗濯槽クリーナー または 塩素系漂白剤

風乾燥 については ➔P.36

コースの変えかた

■ コース ボタンを押すごとにランプの表示が変わります。

標準 ▶ 念入り ▶ おいそぎ ▶ 洗▶風乾 ▶ 毛布 ▶ ドライ ▶ 予約9時間後 ▶ 槽洗浄 ▶（標準に戻る）

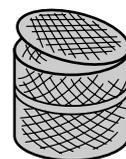
（ランプ表示：点灯　点滅　標準　毛布　念入り　ドライ　おいそぎ　予約9時間後　洗▶風乾　槽洗浄）

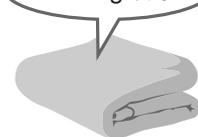
（洗▶風乾：風乾燥 30分 ●　90分 ○）

※電源を入れると「標準」が点灯します。

毛布の洗濯をする

【洗濯物の準備】

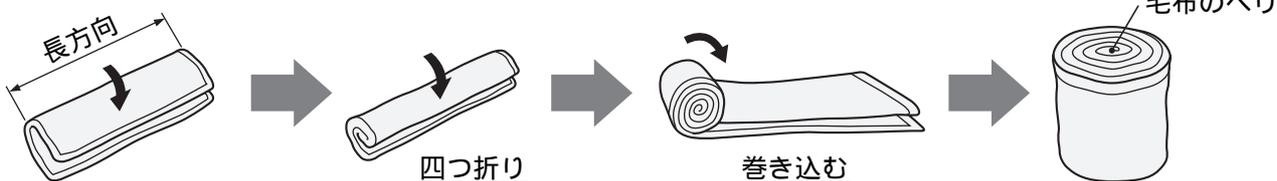
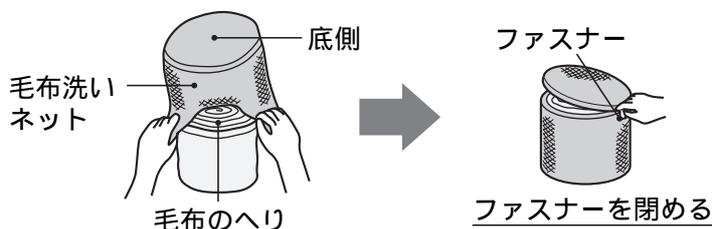
■**毛布を洗濯するときは、別売りの「毛布洗いネット(MO-F40)」が必要です。**➔P.55

●毛布洗いネットを使用せずに洗濯すると、洗濯物を傷めたり、本体が破損する恐れがあります。
(詳しくは「毛布洗いネット」の取扱説明書をご覧ください)
※毛布の取り出しかたについて ➔P.29

洗濯できる毛布

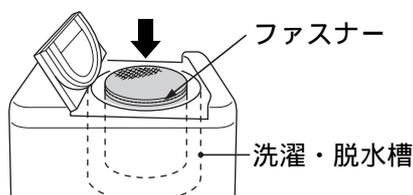
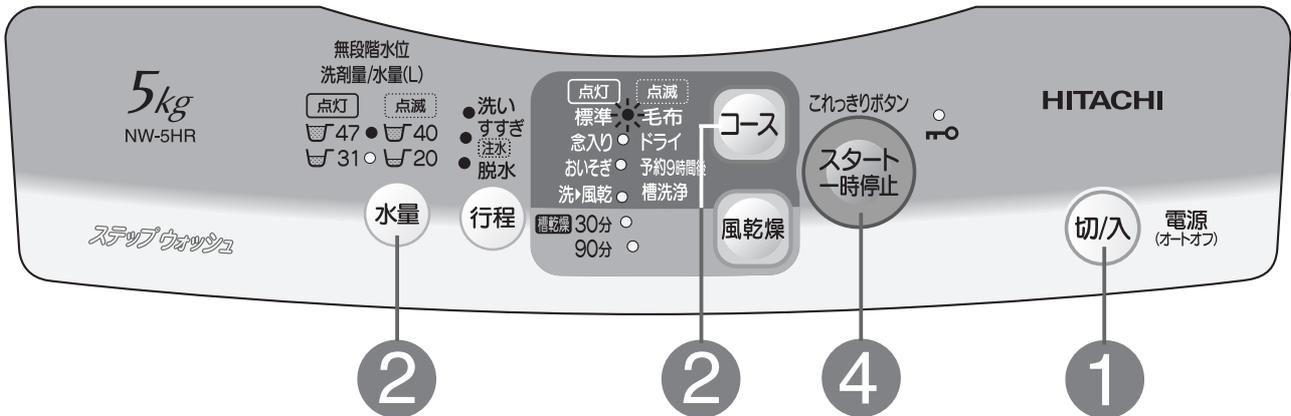
● 手洗イ と表示されている毛布。
●アクリル、またはポリエステルのマイヤー毛布、タフト毛布、織毛布
（幅140cm×長さ200cm以下、1枚の重さが2.4kg以下）
●電気毛布については、電気毛布の取扱説明書に従って洗濯してください。

お願い ●汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤などで汚れを落としてください。

毛布洗いネットに入れる

●1.5kg～2.4kgの場合

毛布の折りかた

毛布の入れかた

●1.5kg未満の毛布は、折らずに角から少しずつ「毛布洗いネット」に入れてください。

洗濯・脱水槽に入れる

●ファスナーをきちんと閉め、ファスナー部を上にして洗濯・脱水槽に入れてください。

【コースの設定～運転】

準備 水栓を開け、毛布を入れる

1 切/入 を押し、電源を入れる

2 コース を押し、「毛布」のランプを点滅させる

水量は自動的に「47L」になります。

■「水量」の設定を変えたいときは → P.39

※「洗い」「すすぎ」「脱水」の設定は変更できません。

3 洗剤量/水量(L)表示に従って、液体洗剤、ソフト仕上剤を入れて、ふたを閉める → P.18～21

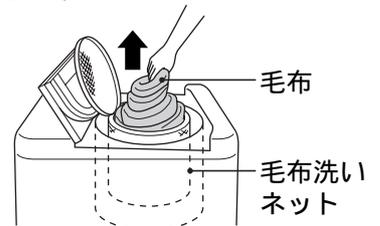
4 スタート一時停止 を押す

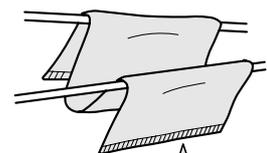
ブザーが鳴ったあと、「ふたロック」のランプが消灯したら終了です。

お願い ●掛ふとんのえり口など汚れのひどい部分は、あらかじめ液体洗剤などの高濃度の洗剤で汚れを落としてください。

ご注意 ●洗濯物の量に対して水位を低くすると、布が傷む恐れがありますのでご注意ください。

取り出しかた

■毛布洗いネットのファスナーを開け、毛布の中央部をひっぱって毛布だけ先に取り出します。

干しかた

■風通しのよいところで自然乾燥させます。

●時々裏返すと、乾燥がより効果的です。

●毛布は湿っているうちに、ブラシで一方向に毛並みをそろえると、きれいに仕上がります。

ドライマーク付き衣類の洗濯をする

【洗濯物の準備】

洗濯できるドライマーク付き衣類

衣類の取扱絵表示	手洗イ 表示があるもの ドライ 表示があるもの

●セーター、カーディガン(ウール、アンゴラ、カシミヤなど)
●スラックス、スカート
●ブラウス、シャツ、ワンピース(絹、麻など)
●学生服、セーラー服
※ ドライ 表示があっても、洗えないものがあります。→P.14

ご注意 ●上記以外の衣類については、衣類の取扱絵表示や洗剤の表示に従ってください。

衣類の前処理

●しみやひどい汚れは早めに処理してください。
時間がたつと落ちにくくなりますので、お洗濯前に部分洗いなどで処理をしておくとより効果的です。
●ボタンやししゅうがついている衣類は裏返にします。
●ボタンやファスナーは閉めてください。

色落ちの確認

●色落ちしそうな衣類は、あらかじめ、色落ちの確認をしてください。白いタオルなどに洗剤液を含ませ、衣類の目立たない部分に強く押し当ててタオルに色移りしないか確認してください。
色落ちがあった場合は、お洗濯しないでください。
●色落ちしやすい衣類(スカーフ、外国製の衣類など)は、十分に注意してください。

脂汚れ、しみなどを落ちやすくする

えり、そで口などの脂汚れ

●えり、そで口、すそやポケット回りの汚れは、洗剤の原液をつけて、ブラシで一定方向にこすってください。

しみ

●裏にタオルを当て、洗剤の原液をつけてブラシなどで軽くたたいて落します。

洗濯後、縮みが大きくなった場合のことを考えて、元の形に修正するために型紙を取っておくと便利です。

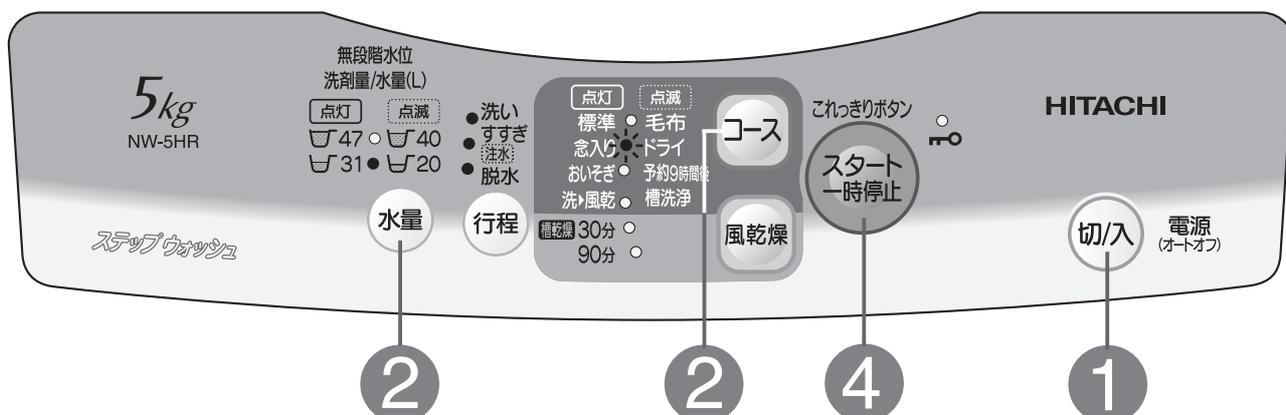
しみの抜きかたワンポイント

●万一、衣類にしみがついた場合は、3倍程度の洗濯液につけ置きしてください。
※上記対応でしみが抜けないときは、下記のように市販の漂白剤をご使用ください。
●漂白剤は、酸化型と還元型とに分けられ、さらに酸化型は塩素系と酸素系に分けられます。
各々、下記のような特徴があり、使えるものと使えないものがありますので、ご使用前に漂白剤の容器に表示してある注意書きをよくご覧になり、正しくご使用ください。

・酸化型
(1)塩素系(ハイター)：漂白力、殺菌力はもっとも強いのですが、色物や毛・絹には使えません。
(2)酸素系(ワイドハイター、カラーブライト)：色・柄物に使えますが、粉末の場合は毛・絹には使えません。
・還元型(ハイドロハイター)
水中の鉄分で黄ばんだり、さびがついたりしたときや、塩素系漂白剤のためにワイシャツのえりの芯地が黄変したときに使います。色・柄物には使えません。

使用する洗剤について

●衣類の取扱絵表示が ドライ 表示のものは、ドライマーク衣類専用の洗剤(液体)を使用してください。
手洗イ 表示のあるものは、中性洗剤(液体)も使用できます。
●使用量は洗剤の表示に従ってください。
●液体洗剤以外は使わないでください。

【コースの設定～運転】

準備 **水栓を開け、洗濯物を入る**

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2 コース を押し、**「ドライ」のランプを点滅させる**

水量は自動的に「31L」になります。

■「水量」の設定を変えたいときは ➔ P.39

※「洗い」「すすぎ」「脱水」の設定は変更できません。

3 **洗剤量/水量(L)表示に従って、**
液体洗剤、ソフト仕上剤を入れて、ふたを閉める ➔ P.18～21

4 スタート 一時停止 **を押す**

ブザーが鳴ったあと、「ふたロック」のランプが消灯したら終了です。

お願い
- **濃縮タイプの液体洗剤は2倍、普通タイプの液体洗剤も水で薄めてご使用ください。**
  投入口内部に洗剤残りを少なくするためです。
- **お湯や風呂の残り湯は使用しないでください。**
  衣類の縮みが大きくなったり、入浴剤の色が移る恐れがありますので、水道水を使用してください。

ご注意
- **洗濯物の量に対して水位を低くすると、布が傷む恐れがありますのでご注意ください。**

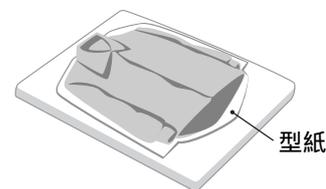
干しかた

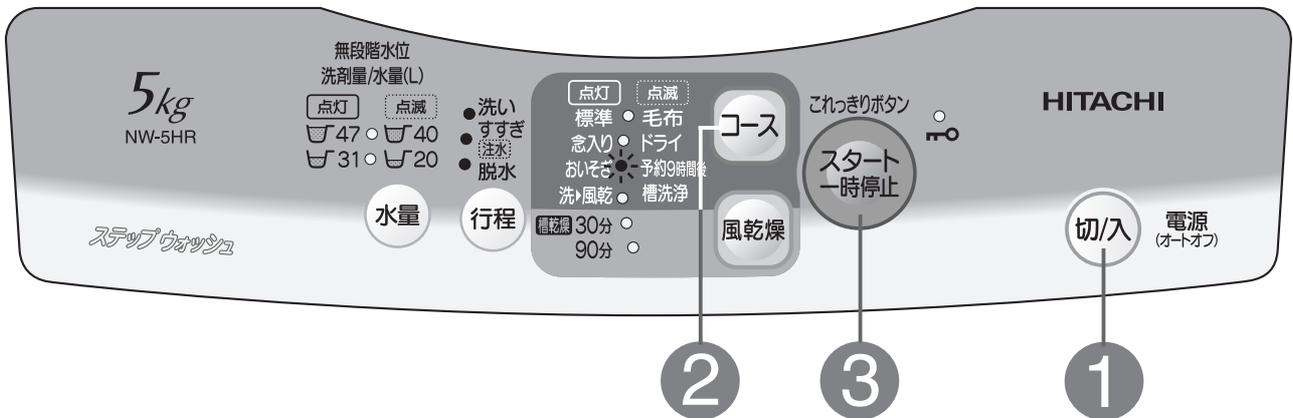
- ウール、アンゴラ、カシミヤなどのセーターは、形を整えて日陰で平干しにします。
- 風呂のふたなどを使って平干しにすると形くずれが防げます。

- ブラウスやワンピースは形を整えて日陰でハンガーに干します。

仕上げ(縮み、形くずれの直しかた)

- スチームアイロンを軽く浮かせてスチームをかけ、形を整えます。

- スチームをたっぷりあてたあと、型紙に合わせて元の形までのばし、形を整えます。

予約運転をする

■仕上がり時間を9時間後に予約できます。
出かけている間に洗いたいときや、夜間に洗って朝干したいときなどに便利です。

準備 水栓を開け、洗濯物を入れる

「標準」コースと同じ運転内容で洗います。

1

を押し、**電源を入れる**

2

を押し、
「予約9時間後」のランプを点滅させる

■「水量」の設定を変えたいときは → P.39

■「すすぎ」の設定を変えたいときは → P.34、35

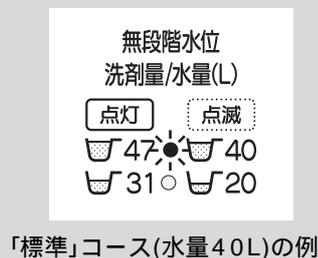
※「洗い」「脱水」の設定は変更できません。

3

を押す

洗濯物の量を測定し、洗剤量/水量(L)を表示します。

無段階水位
洗剤量/水量(L)
点灯　点滅
47　40
31　20

「標準」コース(水量40L)の例

4

洗剤量/水量(L)表示に従って、
洗剤、ソフト仕上剤を入れて、ふたを閉める → P.18～21

洗濯内容を表示したあと、「予約9時間後」表示以外は消灯します。

洗剤の入れかた

■粉末合成洗剤

●白物のハンカチなどに包み、洗剤がこぼれないように洗濯・脱水槽の中央付近に押し込んでください。

■液体洗剤

●2倍にうすめて、投入口に入れてください。

こんなときには

●**予約内容の確認**：行程 **を押す。**(押している間、予約内容を表示)

●**予約の取り消し**：切/入 **を押し、電源を切る。**

●**予約の変更**　　：切/入 **を押し、電源を切り、初めからやり直す。**

●**衣類の追加**　　：**電源を切らずに、衣類を投入してください。**

ご注意

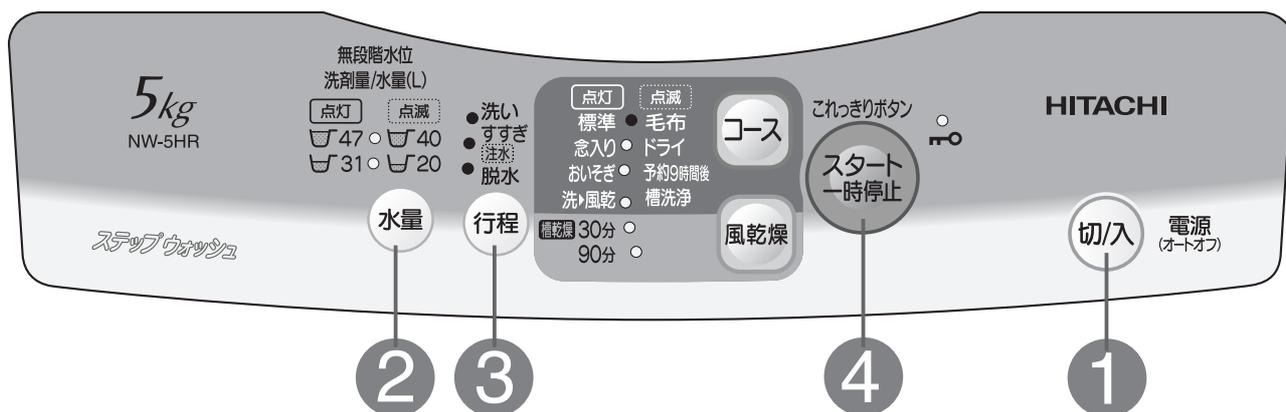
●**予約運転のとき、色移りしやすい衣類は一緒に洗濯しないでください。**

●石けん(天然油脂)は、溶けにくいので使用しないでください。

●電源プラグを抜いたり、停電したときは、予約運転は取り消されます。

●洗濯物の量や質、給水量により仕上がり時間がずれることがあります。

●衣類のシワ防止のため、洗濯が終わったらできるだけ早く干してください。

標準コースで部分運転をする

こんな場合に	1	2	3 行程ボタンで内容を設定する
注水すすぎにしたいとき **洗い→注水すすぎ→脱水**	電源 切/入 電源ボタン「入」を押す ※電源を入れると「標準」ランプが点灯します。	水量 水量を選ぶ → P.39 ※水量の設定がないときは、自動的に決まります。	行程 ボタンを1回押す
洗濯を分けて洗いたいとき 水をためたいとき **洗いのみ**			行程 ボタンを2回押す
シワが気になる洗濯物を 脱水しないとき **洗い→すすぎ**			行程 ボタンを3回押す
すすぎ液を再利用するとき **洗い→注水すすぎ**			行程 ボタンを4回押す
洗濯・脱水槽の水を排水したいときや、干す前に脱水したいとき **排水のみ、脱水のみ**			行程 ボタンを5回押す
洗った洗濯物をすすいで 脱水したいとき **すすぎ→脱水**		水量 水量を選ぶ → P.39 ※水量の設定がないときは「47L」になります。	行程 ボタンを6回押す
洗った洗濯物をすすいで 脱水したいとき **注水すすぎ→脱水**			行程 ボタンを7回押す
のり付けするとき **洗い→脱水**		水量 水量を選ぶ → P.39 ※水量の設定がないときは、自動的に決まります。	行程 ボタンを8回押す

■水量・洗い・すすぎ・注水すすぎ・脱水を設定したり、それぞれを組み合わせて運転することができます。
(設定内容は記憶されません)
■「スタート/一時停止」ボタンを押したあとは、行程を変更できません。
行程を変更するときは、電源を入れ直してください。
■「標準」コース以外で部分運転する場合も、同じ操作をします。(できないコースもあります)

注水すすぎについて

●「注水すすぎ」を設定した場合、水漏れを防ぐためにセンサーが異常水位を検知し、注水を途中で停止する場合があります。

表示ランプ

電源を入れる(または、「行程」ボタンを9回押す)と「洗い」「すすぎ」「脱水」のランプがすべて点灯します。

洗い	すすぎ	脱水
●	●	●

4

スタートボタンを押す

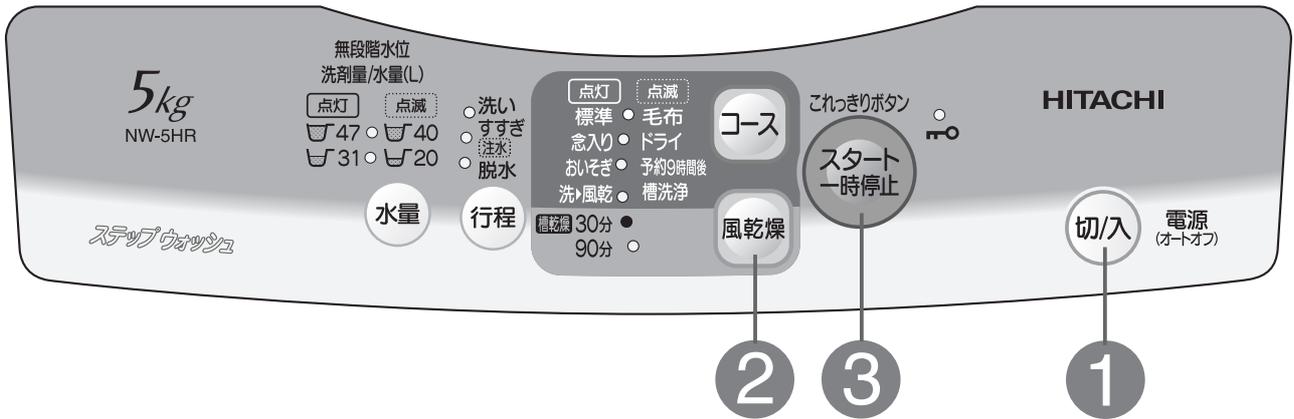
スタート 一時停止

終了

ブザーでお知らせします

洗い	すすぎ	脱水	終了
●	☀(注水すすぎ)	●	すすぎが注水すすぎになります。
●	○(すすぎなし)	○	洗濯液は残ったまま停止します。
●	●(ためすすぎ)	○	すすぎ液は残ったまま停止します。
●	☀(注水すすぎ)	○	すすぎ液は残ったまま停止します。 すすぎが注水すすぎになります。
○	○(すすぎなし)	●	排水して、脱水します。
○	●(ためすすぎ)	●	すすぎの前に排水、脱水をします。
○	☀(注水すすぎ)	●	すすぎの前に排水、脱水をします。 すすぎが注水すすぎになります。
●	○(すすぎなし)	●	すすぎをせずに洗いと脱水をします。

風乾燥をする（風乾燥）

■洗濯終了後の化繊の洗濯物に風を吹きつけて乾かします。

準備 **洗濯物を1枚ずつ広げ、片寄らないように入れる**

次のものは風乾燥できません。
●「仕分けと確認」➔ P.14 の衣類

1 切/入 を押し、**電源を入れる**

2

を押し、**希望の時間のランプを点灯させる**

3 ふたを閉めて、
スタート一時停止 **を押す**

ブザーが鳴ったあと、「ふたロック」のランプが消灯したら終了です。

お願い

●タイマー式乾燥のため、乾きに関係なく終了します。
洗濯物の容量、種類、気温・湿度・室内の換気状態、季節や設置環境によって、乾燥不足や乾きムラがあります。特に綿100%のような厚手の衣類に乾きムラが生じることがありますが、異常ではありません。そのようなときは、追加運転を行うか、天日干しをしてください。

●洗濯・脱水槽に水が入っている場合は、水を排水してください。
➔ P.34

風乾燥できる洗濯物は

■風乾燥できる洗濯物の量は化繊1kg以下です。

ご注意

●洗濯物の量が多すぎると、効果が出ません。乾きムラの原因になります。
●洗濯物を入れるときは、ほぐしてから入れてください。

■風乾燥できる化繊の洗濯物の重さの目安

ガードル
(ウレタン入り)
(化繊：約200g)

フリーストレーナ
(化繊：約500g)

キャミソール
(ウレタン入り)
(化繊：約200g)

ジャージ上下
(化繊：約700g)

ご注意

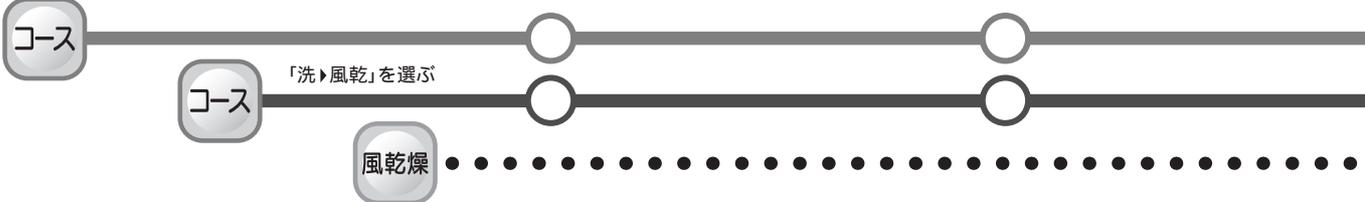
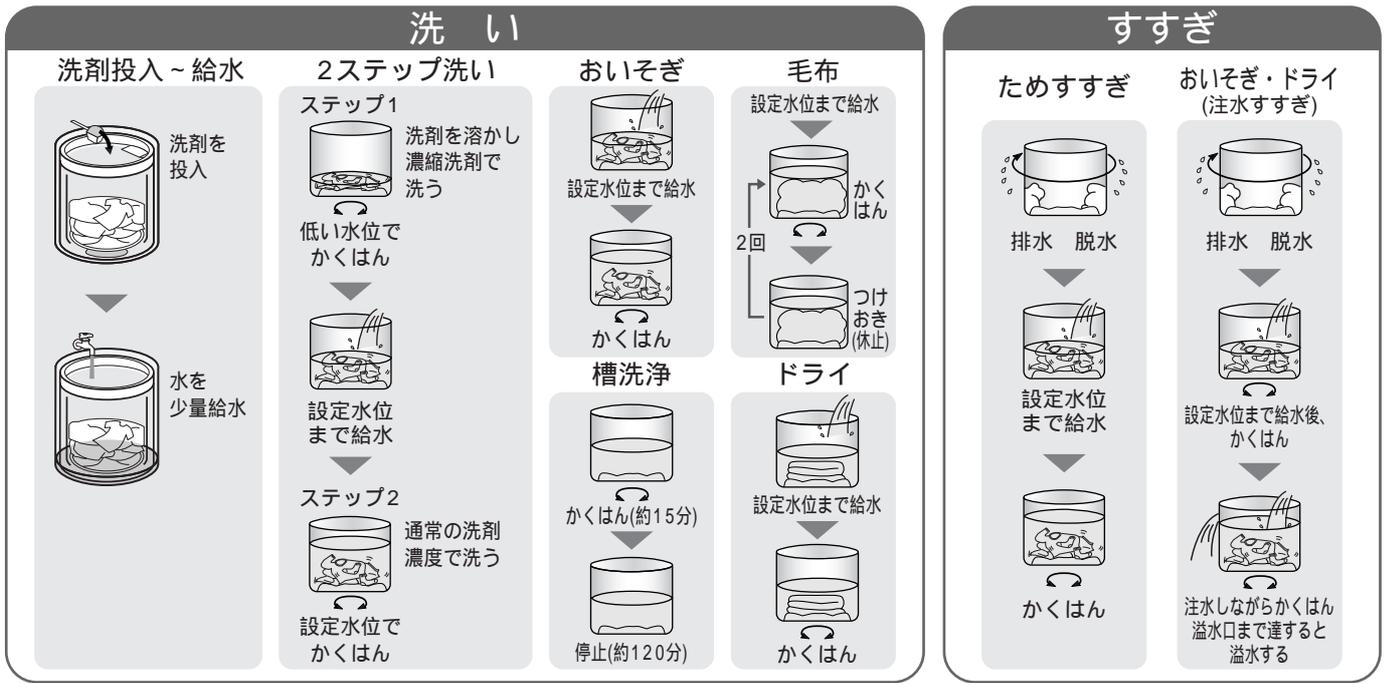
●風による乾燥を行う機能ですので、完全に乾く機能ではありません。
●化繊以外の洗濯物では効果がありません。

風乾燥時間の変えかた

■ 風乾燥 ボタンを押すごとにランプの表示が変わります。

30分風乾燥運転	90分風乾燥運転	120分風乾燥運転
槽乾燥 30分 ● / 90分 ○	槽乾燥 30分 ○ / 90分 ●	槽乾燥 30分 ● / 90分 ●

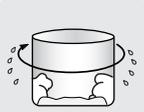
※ 風乾燥 ボタンを押すと「30分」が点灯します。

全自動コースの運転内容と、変更できる内容

コース	水量	洗い	すすぎ 1回目	すすぎ 2回目
標 準	20～47L 20～47L	8～10分	ためすすぎ ため＋注水すすぎ※2	ためすすぎ ため＋注水すすぎ※2
念入り	20～47L 20～47L	10～12分	ためすすぎ ため＋注水すすぎ※2	ためすすぎ ため＋注水すすぎ※2
おいそぎ	38L※1自動設定 20～47L	4分	ため＋注水すすぎ※2 ため＋注水すすぎ※2	― ―
洗▸風乾	20～47L 20～47L	8～10分	ためすすぎ ため＋注水すすぎ※2	ためすすぎ ため＋注水すすぎ※2
毛布	47L 20～47L	25分	ためすすぎ	ためすすぎ
ドライ	31L 20～47L	6分	ため＋注水すすぎ※2	―
予約9時間後	20～47L 20～47L	8～10分	ためすすぎ ため＋注水すすぎ※2	ためすすぎ ため＋注水すすぎ※2
槽洗浄	47L	135分	ためすすぎ	ためすすぎ
風乾燥	―	―	―	

※1 水量のランプ表示は40Lです。➔P.18
※2 「注水すすぎ」の前に「ためすすぎ」を行います。

目安時間について

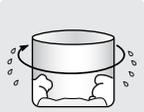
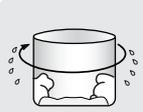
- ●所要時間の目安時間は、室温20℃、水温20℃で運転した場合です。
- ●所要時間は目安であり、実際の時間とは異なる場合があります。
- ●給水時間(給水量毎分15L)、排水時間を含みます。水道水圧、洗濯物の量、排水条件、室温により変わります。
- ●洗い時間、脱水時間は、実際に運転する時間とは異なる場合があります。
- ●(　)は、手動で切り替え設定したときの目安時間です。

脱　水

排水→脱水

洗▶風乾

排水→脱水

脱水は30分になります。

風乾燥

設定内容の変更について

●「スタート/一時停止」ボタンを押したあとは、設定(コース、水量、行程、風乾燥)の変更はできません。
変更する場合は、電源を入れ直してください。
●脱水の途中で「スタート/一時停止」ボタンを押し、再度「スタート」した場合は、脱水を始めからやり直します。

水量の変えかた

●「水量」ボタンを押すごとに、ランプの表示が変わります。

水量

洗いの途中で水を足したいときは

「水量」ボタンを押します。押し続けている間、給水します。
(「47L」に達すると、それ以上は給水しません。)

すすぎの変えかた

●「行程」ボタンを1回押すと、「注水すすぎ」になります。

○○○ 運転する行程
標準設定内容
各ボタンで切り替えできる内容

脱水	風乾燥	所要時間の目安
9分	—	47分 (33～47分)
11分	—	51分 (37～51分)
5分	—	21分 (21分)
30分	—	68分 (98分)
11分	—	58分
2分	—	19分
9分	—	47分 (33～47分)
30分	—	190分
—	30、90、120分	30、90、120分

注水すすぎについて

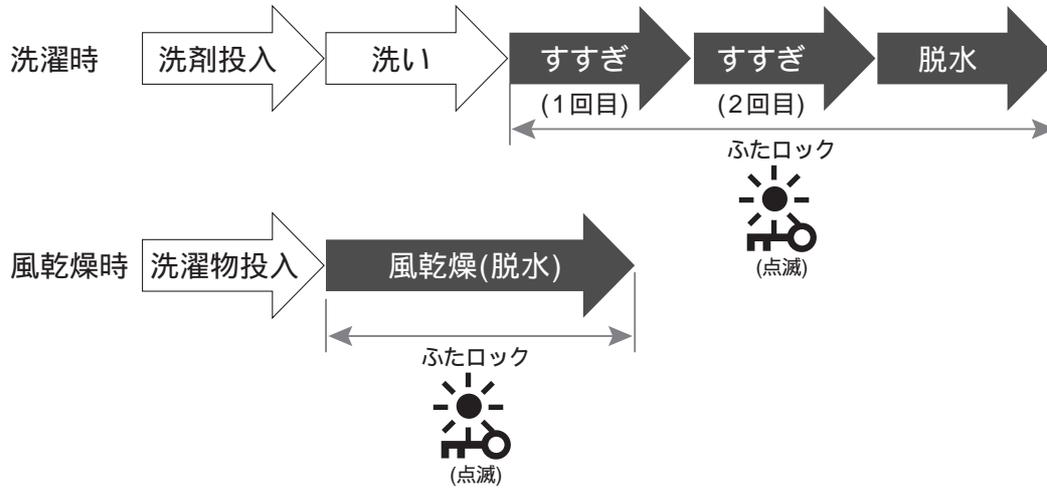
●注水すすぎを設定した場合、水漏れを防ぐためにセンサーが異常水位を検知し、注水を途中で停止する場合があります。

いろいろな使いかた

ふたロックについて

■安全のため、洗濯時や風乾燥時は、ふたがロックされます。

ふたを開けたいときは

 を押す

運転動作が止まるとふたロックが解除し、ランプが消灯します。

再スタートするときは

ふたを閉めて、 **を押します。**

●「すすぎ行程中の脱水」もしくは「脱水」中に スタート一時停止 を押した場合、すぐにふたがロックし、 が点滅します。

●「すすぎ行程中の脱水」もしくは「脱水」中以外に スタート一時停止 を押した場合、1回目の「すすぎ」のあとにふたがロックし、 が点滅します。

いたずら防止モード

■運転中はつねにふたをロックするように設定できます。
工場出荷時は、「設定なし」にしています。設定するときは

 ふたを閉め、 **を押し、電源を入れる**

 行程 **を3秒以上押す**

「ピッピッピッピー」でお知らせします。

●電源が切れると設定は解除します。
毎回設定を行ってください。

●途中でふたを開けたいときは、上記の「ふたを開けたいときは」の操作をします。

設定時

(点滅)

ブザー音を消したいとき

■運転の終了を、ブザーでお知らせします。

ブザー音を消したいときは

1. **切/入 を押し、電源を入れる**

2. **スタート一時停止 を3秒以上押す**

   「ピーピッピッピッピー」でお知らせします。
   設定と同時に洗濯がスタートします。

   ●電源が切れると設定は解除します。
   毎回設定を行ってください。

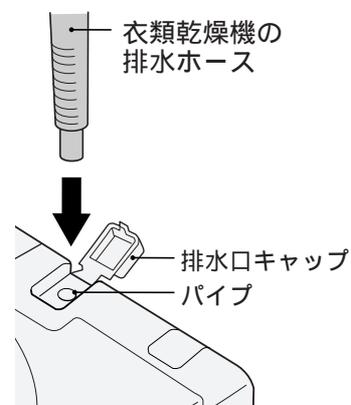
衣類乾燥機と組み合わせるとき

■衣類乾燥機から出る水を、洗濯・脱水槽に流します。

1. **洗濯機の右側後部の排水口キャップを開く**

2. **内部のパイプに衣類乾燥機の排水ホースを回しながら、奥まで差し込む**

3. **衣類乾燥機の排水ホースを引っ張って、簡単に抜けないことを確認する**

   ●排水ホースを倒してご使用ください。

洗濯・脱水槽のカビを防ぐ／カビを取る

準備 **水栓を開ける**

1

切/入 を押し、**電源を入れる**

2

槽洗浄

コース を押し、

「槽洗浄」のランプを点滅させる

洗濯槽クリーナーを洗濯・脱水槽に直接入れる

槽乾燥

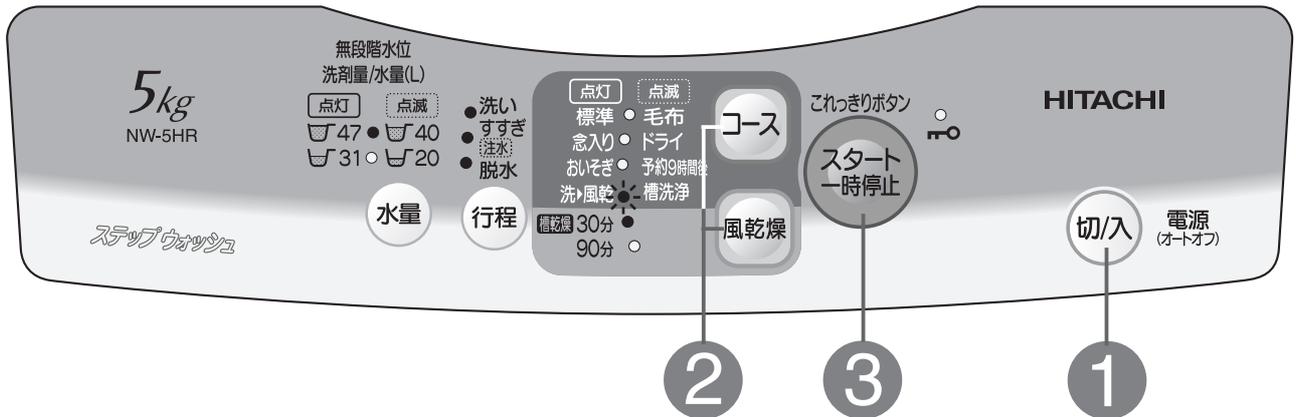
風乾燥 を押し、

槽乾燥「30分」のランプを点灯させる

3

ふたを閉めて、

を押す

ブザーが鳴ったあと、「ふたロック」のランプが消灯したら終了です。

カビを防ぐ

槽乾燥

30分間の乾燥運転で、洗濯・脱水槽を乾燥させ、黒カビの発生を抑えます。

定期的なお手入れ

週に一回を目安に運転してください。

カビを取る

槽洗浄

約3時間かけて、かくはんとつけおきを行い、洗濯・脱水槽に発生した石けんかすや黒カビを洗い落とし、最後に30分間運転し、洗濯・脱水槽内を乾燥させます。

定期的なお手入れ

2か月に一度を目安に洗ってください。

市販の塩素系漂白剤500mLまたは別売りの洗濯槽クリーナーを使う。 ➔ P.55

ご注意

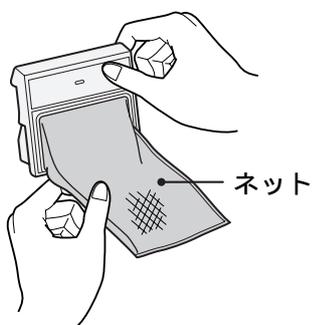
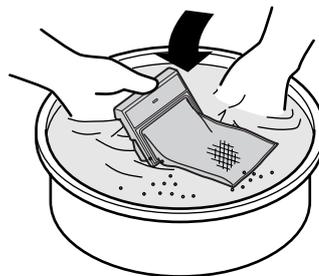
- 衣類は入れないでください。
- 槽洗浄の際は、ふだんお使いの洗剤は使用しないでください。洗浄効果がありません。

お手入れ

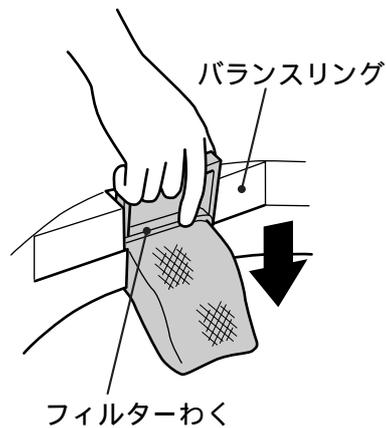
糸くずフィルター（お手入れは、洗濯ごとにしてください）

1 フィルターを取り出す

●フィルターわくを持ち、バランスリングから上へ引き抜く。

2 ネットを裏返しにする

3 糸くずを取り除き、目詰まりを洗い落とす

4 裏返したネットを元に戻す

5 フィルターを元どおり取り付ける

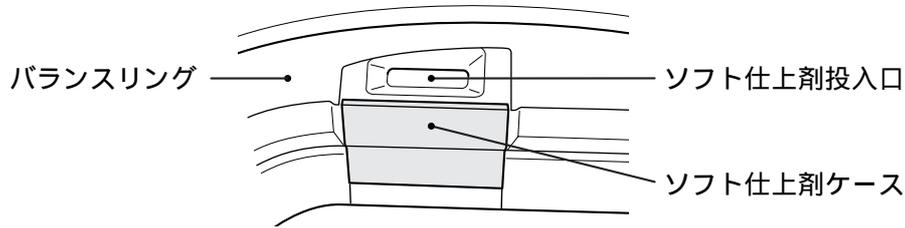
●バランスリングにフィルターわくを差し込む。

お願い

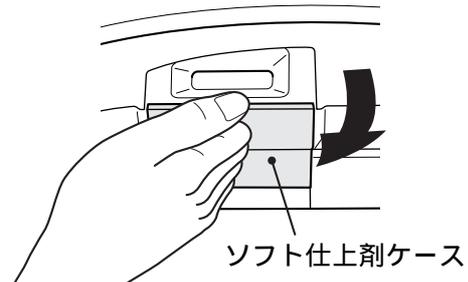
●糸くずフィルターは消耗品です。ネットが破れたときは、販売店でお買い求めください。
糸くずフィルター (型式 NET-42N6) ➔P.55

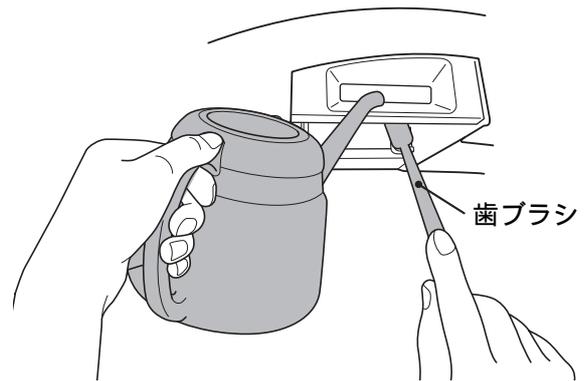
ご注意

●糸くずフィルターを外した状態で洗濯をしないでください。
衣類を傷める恐れがあります。

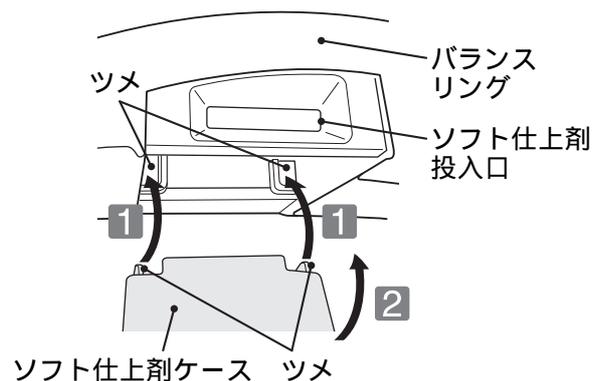
お手入れ(続き)

ソフト仕上剤投入口（ソフト仕上剤が残っていたり、汚れていたら）

1 ソフト仕上剤投入ケースを取り出す

●右図のように、ソフト仕上剤ケースを矢印の方向に外してください。

2 ソフト仕上剤投入口から水を入れ、歯ブラシなどで内部を掃除する

●ソフト仕上剤ケースも同様に洗ってください。
●周囲に水がかからないように注意してください。

3 水気をふき取り、元どおり取り付ける

1 ソフト仕上剤投入口のツメと、ソフト仕上剤ケースのツメを合わせて、

2 カチッと音がするまで押し込む

お願い

●投入口内にソフト仕上剤が固まってしまったときは、約40℃のお湯で柔らかくしてから掃除してください。
●元どおりに取り付ける前に、ケースの水気をふき取ってください。

ご注意

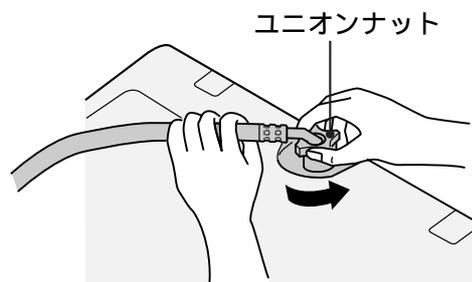
●ソフト仕上剤ケースは、確実に取り付けてください。
運転中にケースが外れ、衣類を傷つけたり、破損する恐れがあります。

給水口（水道水の出が悪くなったら）

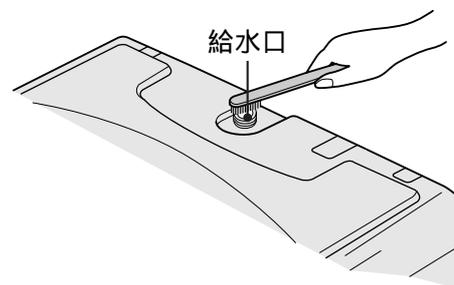
1 水栓を閉めて、給水ホースを外す

1. 水栓を閉めて 切/入 を押し、電源を入れる
2. コース を押し、「槽洗浄」コースを選ぶ
3. スタート一時停止 を押し、スタートする
4. 約10秒間運転し、 切/入 を押す

   外すときの水の飛び散り防ぐためです。

5. ユニオンナットを緩め外す

2 網にたまったゴミを、歯ブラシなどで取り除く

●ゴミが取りにくいときは、網をペンチなどで取り外して掃除してください。

●網を外した場合は、元どおりに取り付けてください。取り付けないと、給水弁の故障の原因になります。

本体、洗濯・脱水槽（水滴が付いたり、汚れたら）

●本体の水滴や汚れは、柔らかい布でふき取ってください。

●ふたなどのプラスチック部品や、鋼板部品に洗剤やソフト仕上剤が付いたときも、柔らかい布でふき取ってください。

●本体各部に直接水をかけないでください。

●ベンジン、シンナー、クレンザー、アルカリ性洗剤、弱アルカリ性洗剤、ワックスなどでふいたり、たわしでこすらないでください。

●洗濯・脱水槽のさびは、市販のクリームクレンザーでふき取ってください。金属たわしなどは使わないでください。

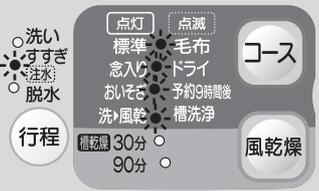
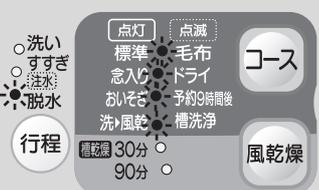
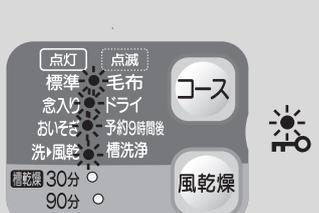
●ステンレス槽はさびにくい性質を持っていますが、次のような場合にはさびが発生することがあります。

ヘアピンなどの洗濯・脱水槽への長時間の接触や、鉄粉や赤さびの混じった水の使用。
洗濯・脱水槽内への塩素系漂白剤や洗剤、ソフト仕上剤の長期間放置。

お困りのときは

こんな表示が出たら

次のときは、表示の点滅やブザーでお知らせします。ただし、万一の誤検知が考えられますので、一時停止か一度電源を「切」にし、再びスタートさせ、同様の異常報知がでる場合は、次の点検を行ってください。

表示とお知らせ内容	確認するところ	直しかた
給水できない（25分たっても満水にならないとき）	●水栓は全開していますか。 ●水道は凍結していませんか。 ●断水していませんか。 ●給水口の網にごみがたまっていませんか。	一時停止 異常を取り除く 再スタート
排水できない（5分たっても排水が終わらないとき）	●排水ホースを確認してください。 ・排水ホースを倒していますか。 ・つぶれていませんか。 ・先端が水につかっていませんか。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。 ・凍結していませんか。 ・途中15cm以上高くなっていませんか。 ・延長ホースが長過ぎませんか。 ➔ 据付説明書 ●排水口(排水トラップ)を確認してください。 ・糸くずなどが詰まっていませんか。	
脱水できない	●洗濯物が片寄っていませんか。 (洗濯物の片寄りの自動修正動作を2回繰り返しても直らない場合は、報知します)	一時停止 片寄りを修正 再スタート
ふたがロックできない	●ふたが開いていませんか。 ●ふたの下に異物が入っていませんか。 ●洗濯機は水平になっていますか。 ➔ 据付説明書	一時停止 ▼ 異常を取り除く ▼ 再スタート
ふたのロックが解除できない	●ふたの下に異物が入っていませんか。	一時停止 ▼ 異常を取り除く ▼ 再スタート 再度エラーが出た場合は、修理を依頼してください。

●上記以外の異常報知がある場合は、外来ノイズによる誤作動が考えられます。一時停止ボタンを押して再スタートし、同様に異常報知した場合、使用を中止して修理を依頼してください。

■電源オートオフについて

●運転が終了すると、自動的に電源が切れます。
●次の状態で1時間以上放置すると、自動的に電源が切れます。
・一時停止の状態
・ふたを開けたまま、スタートボタンを押して放置した状態
・上記のような表示
●電源を入れ、スタートボタンを押さないで5分放置すると、自動的に電源が切れます。

修理を依頼される前に

次の点をもう一度お調べください

現　象	原　因
運転しない	●停電していませんか。 ●電流ヒューズ、ブレーカが切れていませんか。 ●電源プラグは確実に差し込まれていますか。 ●電源は入っていますか。 ●水栓は開いていますか。 ●予約を設定していませんか。 →P.32 ●スタートボタンは押しましたか。
電源ボタンを「切」「入」すると、受け付けないことがある	●ふたロックのランプが点滅していませんか。 →P.7
給水しない 脱水しない 排水しない	●「こんな表示が出たら」の 確認するところ を参照してください。 →P.46
異常な音がする	●洗濯機が傾いたり、がたついていませんか。 →据付説明書 ●ヘアピンや金物など異物がまぎれこんでいませんか。
ふたが開かない	●電源は入っていますか。 （運転の途中で電源を切ったり、停電があったり、ランプの点滅 →P.46 後に電源オートオフすると、ふたがロックされたままになっています。電源を入れるとロックが解除します。）
運転中ふたが開かない	●いたずら防止モードの設定になっていませんか。 →P.40
水漏れする	●水栓の形状は適していますか。 →据付説明書 ●ワンタッチつぎての取り付けやユニオンナットの締め付けが緩んでいませんか。 →据付説明書
終了ブザーが鳴らない	●終了ブザーを消す設定にしませんでしたか。 →P.41
ブレーカーが作動する	●同一配線にほかの電気製品が接続されていませんか。 ●専用の15A以上のコンセントを使っていますか。

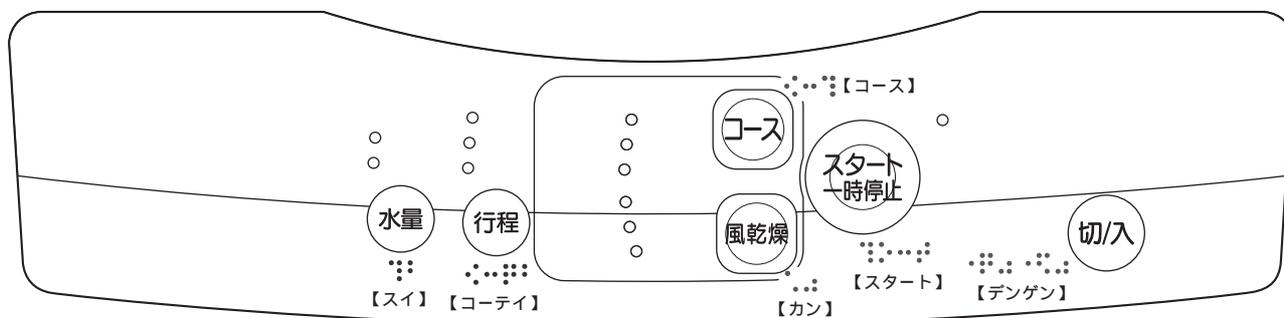
お困りのときは(続き)

こんなときは故障ではありません

	現象	理由
給水について	洗濯の途中で給水する	●洗濯中に水位が下がると、自動的に水が補給されます。
	すすぎから始めると給水されない	●排水・脱水動作をしてからすすぎの給水を始めます。
	給水ホースをセットして水栓を開くと、給水口から水が出る	●ウォーターハンマー低減弁を使用しているため、弁の閉止に時間がかかるためです。
	給水途中にかくはん翼が回転せずに、約1分間給水が停止する	●外来ノイズの影響で、センサーの検知に時間がかかっているためです。
	給水の途中からかくはんが始まる	●「おいそぎ」コースでは、洗濯時間を短縮するため、給水の途中からかくはんを開始します。
	バケツなどの容器で給水しても、排水されてしまう	●通常は排水弁は「開」で停止しています。 「お湯を使う」の操作を参照してください。 ➔ P.25
すすぎについて	ためすすぎが注水すすぎに変わる	●洗濯物が片寄って、安全スイッチが働いたためです。 (安全スイッチは、脱水20回に1回程度は働くことがあります)
	注水すすぎを設定してもためすすぎになる	●排水状態が悪い場合、洗濯・脱水槽の上部からの水あふれを防止するため、自動的にためすすぎに切り換わります。
	注水すすぎの途中で注水が停止する	●排水口の詰まりなどで、排水が阻害されたとき、外槽からの溢れ（異常イッスイパイプからの水漏れ）を防止するため、水位センサーが異常水位を検知し、注水を停止します。
脱水について	脱水の最後やスタート/一時停止ボタンを押したときに、「ブーン」という音がする	●洗濯・脱水槽の回転を電気的に停止させるためのブレーキの音です。
	脱水の始めに、「カチャカチャ」という音がする	●洗濯モードから脱水モードへの切り換えの音です。
	脱水の始めにモーターの音色が変化する	●本機では、脱水の効率を上げるため、2種類の回転数が得られるモーターを採用していますので、この切り換えの際、音色が変化します。
	脱水の途中ですすぎに変わり給水する	●洗濯物が片寄って、安全スイッチが働いたためです。 給水・かくはん運転を行い、布の片寄りをほぐしたあと、再度脱水します。
	脱水の始めに間欠的に脱水する	●脱水を効果的に行うためです。
音について	洗濯・脱水槽を手で動かすと、「シャワシャワ」という音がする	●脱水時の振動を低減するためのバランスリングの水の音です。
	洗いや脱水開始時に「カチャ」という音がする	●クラッチの切換動作の音です。 (音の大きさは、タイミングにより異なります。)
	運転中に「ブーン」や「ブンブンブン」という音がする	●モーターON-OFFや電磁ブレーキの電磁音です。
	洗いや脱水高速回転中に「ブーン」や「カラカラカラ」という音がする	●脱水回転数を制御するために、モーターをON-OFFさせている音です。

現　象		理　由
糸くずフィルターについて	糸くずフィルターから水が流れ出ない	●「ドライ」コースで運転している場合は、かくはん翼の回転数が下がったり、水位が低く設定されたりしますので、糸くずフィルターから水が流れ出ないことがあります。
	糸くずが気になる	●標準コースで糸くずが気になる場合には、水量を高めに設定したり、すすぎの設定を注水にすると糸くずが取りやすくなります。
洗濯時間について	予約時間がすぎているのに洗濯が終わらない	●給水量が少ない場合は、終了時間を超えて運転することがあります。
電源ボタンについて	電源を入れてもすぐに表示ランプが点灯しない	●電源を入れると、「ピッ」という受付音がし、約2秒後に表示ランプが点灯します。 (ソフトスイッチのため、マイコンの内部処理に少し時間がかかるためです)
ふたのロックについて	ふたがロックされている	●「ふたロック」のランプが点滅して運転しているときに、停電または電源プラグを抜くと、ふたがロックされたままになります。電源を入れるとふたロックが解除されます。
においについて	ご使用初期ににおいがする	●ご使用初期にモーターからワニス(絶縁剤)のにおいがすることがあります。これは初期的なもので、約1週間ほどのご使用で臭わなくなります。
	洗濯・脱水槽から異臭がする	●洗剤やソフト仕上剤で香りの強いものや粘性の高いもの、天然油脂を使用した洗剤を使用すると、においが気になる場合があります。気になる場合は、量を減らすか洗濯・脱水槽をお手入れしてください。➔P.42
	脱水中ににおいがする	●排水状態が悪い場合や、泡の量が多すぎる(洗剤の入れ過ぎなど)場合、脱水中のモーター負荷が大きくなり、においが強くなることがあります。
	排水口のにおいがする	●排水口からのにおいの吸い込みを防ぐために、別売り部品「洗濯機用排水トラップ」を購入し、設置してください。➔P.55
その他	スタート/一時停止ボタンを押してもすぐにふたが開かない	●すすぎや脱水行程中では、運転を停止させてからふたロックが解除されます。(約5秒～約1分30秒後)
	初めて使用するとき、排水ホースから水が出る	●工場の性能テスト時の残水です。
	電源を「入」「切」したときにふたロックのランプが点滅する	●クラッチの切り換え動作をしているためです。

操作パネルの点字内容

■操作パネルの各ボタンには、点字を付けています。下図のカタカナ表記が点字の内容です。
一部のものは省略表示になっています。

もしものとき

凍結の恐れのあるとき

1. **水栓を閉める**

2. **電源を入れ、「槽洗浄」コースを選び、スタートボタンを押して運転する**

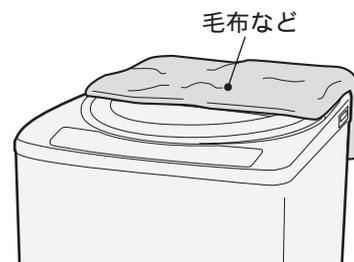
3. **給水ホースを外し、下に向ける**
➔ 据付説明書
●給水ホース内に付着した水滴がたれるので、給水ホースの先にバケツなどの容器を置くかぞうきんなどで水を受けてください。

4. **約30秒間運転して一時停止ボタンを押す**
●給水ホース内の残水を抜きます。

5. **排水ホースを排水口に差し込む**

6. **いったん電源を切ったあと、「脱水のみ」を設定して、約30秒間運転する** ➔ P.34

7. **一時停止ボタンを押してから電源を切る**
●洗濯・脱水槽と排水ホース内の水を抜き、排水バルブを開いたままにするためです。

寒冷地でのご使用など凍結の恐れのある場合は、本体のうしろ側（上部）を毛布などで保温してください。

もし凍結したときには

1. **給水ホースを外し、約40℃のお湯につける**

2. **約40℃程度のお湯を、洗濯・脱水槽に約2～3L入れ、約10分間放置する**

3. **給水ホースをつなぎ、水栓を開ける**

4. **電源を入れ、スタートボタンを押し、放置する(給水弁を解凍します)**
●通電時の熱で給水弁が解凍され、給水しはじめます。(約20分程度)

5. **次の2点を確認する**

(1)手で洗濯・脱水槽を回せるかどうか
➔ 回せることを確認
(2)電源を入れ「脱水のみ」➔ P.34 をスタートし、排水するかどうか
➔ 排水することを確認

※確認できない場合は、❷～❹を繰り返してください。

保証とアフターサービス

保証書(別添)

保証書は､｢お買い上げ日・販売店名｣などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保　証　期　間
お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の保有期間

洗濯機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。

補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

転居されるとき

ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービスを受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談ください。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させていただきます。

電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または｢ご相談窓口｣ → P.53 にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　　出張修理

46～49ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って､販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理して使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　名	全自動電気洗濯機
型　式	NW-5HR
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご 住 所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金の仕組み

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
出張料	商品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

一般家庭用以外でご使用になるとき

理容院や美容院などでタオルなどの洗濯・乾燥に、また、寮や病院などで共同でご使用になり、一日の使用時間が一般家庭に比べて極端に長い場合には、短時間で部品の交換（駆動部ユニット、フィルターなど）が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、定期的な点検を受けてお使いになることをお勧めします。

●このようなご使用は、保証期間の対象外となります。

愛情点検

★長年ご使用の洗濯機の点検を

ご使用の際、このような症状はありませんか？	●洗濯・脱水槽が止まりにくい。 ●水漏れがする。(ホース、水槽、給水つぎて) ●こげくさい臭いがしたり、運転中に異常な音や振動がある。 ●本体にさわるとピリピリ電気を感じる。 ●据付が傾いたりグラグラしている。 ●電源を入れても、動かないときがある。 ●タイマーが途中で止まることがある。 ●電源コード、プラグが異常に熱い。 ●その他の異常・故障がある。 ●電源プラグが変形したり、電源コードにひび割れや傷がある。

ご使用中止	このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて販売店に点検・修理をご相談ください。

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は エコーセンターへ

TEL　0120-3121-68
FAX　0120-3121-87

(受付時間) 9:00〜19:00 (365日)
携帯電話、PHSからもご利用できます。

商品情報やお取り扱いについてのご相談は お客様相談センターへ

TEL　0120-3121-11
FAX　0120-3121-34

(受付時間) 9:00〜17:30(月〜土)、9:00〜17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。
携帯電話、PHSからもご利用できます。

日立家電品の長期使用についてのご相談は、日立長期使用家電品相談窓口へ

TEL　0120-145-458

(受付時間) 9:00〜17:30(月〜金)
土、日、祝日および、年末年始は休ませていただきます。携帯電話、PHSからもご利用できます。

- 「持込修理」および「部品購入」については、上記サービス窓口にて各地区のサービスセンターをご紹介させていただきます。
- お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録(録音など)させていただくことがあります。
- ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
- 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の表示を本体に行っています。

【製造年】(本体の銘板の中に西暦4桁で表示してあります)

【設計上の標準使用期間】　7年
設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)

- **運転時間や温湿度など、以下の標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。**
- **設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、一般的な故障を保証するものでもありません。**

■標準的な使用条件

(社)日本電機工業会自主基準HD-116-5による

環境条件	電圧	単相100V	
	周波数	50Hz／60Hz	
	温度	20℃	
	湿度	65%	
負荷条件	負荷	標準容量	取扱説明書の表示による
	コース	標準コース	
	給水圧力	0.03〜0.8MPa	
	給湯・給水温度	20℃±15℃	
使用時間及び回数	1日の平均使用回数	1.5回	
	1回の使用時間	標準コースの時間	
	1年間の使用日数	365日	
	1年間の使用回数	1.5回×365日＝547.5回／年	

注記：温度20℃、湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

(経年劣化とは)

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

●設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で故障したり、経年劣化による発火・けがなどの事故に至る恐れがあります。

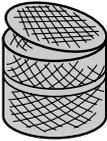
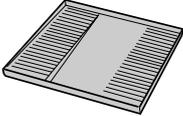
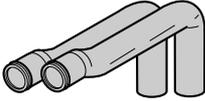
仕様

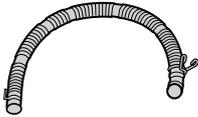
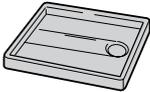
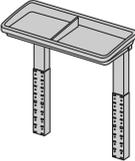
本　体

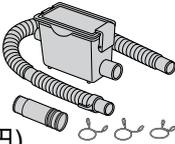
型　　　式	NW-5HR
種　　　類	全自動電気洗濯機
電　　　源	100V、50-60Hz共用
標準洗濯容量	5.0kg
標準脱水容量	
標　準　水　量	47L（「標準」コース）
標準使用水量	122L（「標準」コース）
消　費　電　力	390/455W（50-60Hz）
洗　濯　方　式	うず巻式
水　道　水　圧	0.03～0.8MPa｛0.3～8kgf/cm²｝
外　形　寸　法	幅539mm×奥行508mm×高さ965mm
質　　　量	約26kg

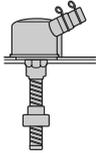
別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。
価格は、２００９年１０現在の消費税率を基に総額表示を行っています。

■毛布洗いネット（MO-F40）
希望小売価格
2,940円 (税抜2,800円)

■洗濯機用トレー（YT-1）
●結露による水滴から床を守ります。
希望小売価格
7,350円 (税抜7,000円) (幅640×奥行640×高さ30mm)

■直下排水Ｌ型パイプ（HO-P5）
希望小売価格
1,050円 (税抜1,000円)

■全自動専用設置台（UP-D3）
●本体を高くするとき、および防水パンに入らないときの設置に使用します。
希望小売価格
5,250円 (税抜5,000円)

■延長排水ホース(約80cm)
（部品番号KW-50K1-023）
●排水ホースの延長用に使用します。
希望小売価格 840円 (税抜800円)

■洗濯機用防水パン（TP-780）
●本体からの水漏れや、結露による水滴から床を守ります。
希望小売価格 12,600円 (税抜12,000円)

■べんり棚（BD-1）
オープン価格
（幅570×奥行195mm）

■糸くずフィルター
（型式 NET-42N6）
希望小売価格
630円 (税抜600円)

■糸くずボックス（WLB-2）
（同梱排水ホース：長さ80cm）
●排水ホースに取り付け、洗濯中の糸くずなどを集めて取り除きます。
希望小売価格 3,570円 (税抜3,400円)

■洗濯槽クリーナー（SK-1）（塩素系/1500mL）
●洗濯・脱水槽に付着した石けんかすなどを落とすときに使います。
希望小売価格 2,100円 (税抜2,000円)

■洗濯機用排水トラップ（YT-T1）
●排水口からの逆流やにおいを防ぎます。
※排水トラップの取り付けには住宅工事の工務店などの工事が必要です。
工務店などにご相談のうえ、お買い求めください。
希望小売価格 4,200円 (税抜4,000円)

● 上記の希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

このマークは、特定の化学物質（鉛・水銀・カドミウム・六価クロム・PBB（ポリブロモビフェニル）・PBDE（ポリブロモジフェニルエーテル））の含有率が基準値以下であることを示しています。
（規定の除外項目を除く）　JIS C 0950：2008

詳しい環境情報は、当社のホームページでご覧いただけます。http://www.hitachi-ap.co.jp/company/environment/kankyo/

お客様メモ

後日のために記入しておいてください。サービスを依頼されるとき、お役に立ちます。

購入店名　　　　**電話（　　）　-**

ご購入年月日　　　　**年　　月　　日**

廃棄時にご注意ください。

2001年4月施行の家電リサイクル法では、お客様がご使用済みの洗濯乾燥機を廃棄される場合は、収集・運搬料金、再商品化等料金（リサイクル料金）をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

日立アプライアンス株式会社
〒105-8410　東京都港区西新橋2-15-12

3-K2975-3B
K9(C)